

2021

令和3年度
学校要覧

National Institute of Technology, Toyama College

教育理念

創 意 ・ 創 造
自 主 ・ 自 律
共 存 ・ 共 生



上記校章は、学生・学校・地域の3者が互いに手を取り合っている様子を表現し、協力・交流・持続的
社会といったメッセージがこめられています。組み
合わさって表現される形は、アルファベットのTをイ
メージ。これは、Think(考える)、True(真実)、
Thank(感謝)の3つの英単語の頭文字であると同
時に、これらを包み込む母体であるToyama(富山)の
Tをあらわしています。

富山高等専門学校 校歌

われら未来へ

片岡 輝
池辺晋一郎
曲 詩

白銀の峰を仰ぎ

胸一杯に大地の息吹を吸いこむ

両腕を翼に空に羽ばたけば

母なる地球が丸い

自在に思いを巡らし

自由に夢を形にする

この学舎とともに手を取り

藍色の海のかなた

波のしぶきに未知なる世界を目指す

嵐に耐えて針路を守れば

暁を星影が招く

自ら省みて行い

自らに恥じなく生きる

この青春とともに悔いなく

遙かなる未来見つめ

広く世界と語らい平和をうたう

真理を極め技を磨けば

吹く風に春の花が香る

たしかなあしどりで進もう

学舎の誇りを胸に

この時代とともに支えて

目 次 Contents

1 学校紹介	1
2 組織	12
3 学科紹介	14
4 専攻科紹介	29
5 教員名簿	32
6 ソリューションセンター	38
7 研究高度化推進センター	38
8 国際教育センター	39
9 入試広報センター	39
10 図書館情報センター	40
11 船舶運航センター	41
12 学生生活	42
13 地域社会との連携	46
14 研究活動	48
15 国際交流活動	49
16 財務状況	51
17 在学状況	53
18 入試状況	54
19 進路状況	56



本郷キャンパス



射水キャンパス

1 学校紹介

■ 校長あいさつ



校長 たか まさ とも し
賞 雅 寛 而

平素より富山高等専門学校のステークホルダーの皆様、すなわちご父母、同窓会そして富山県の各組織各企業の皆様には、本校の教育・研究に対し多大なご協力・ご支援をいただき、大変ありがとうございます。

我が国は世界に冠たる科学技術立国であり、四面を海に囲まれた海洋国家です。また富山県は歴史的に、北海道から長崎・琉球にわたる北前船の重要な中継港となってきた海洋県であり、この交易によって始まった製薬産業・科学産業そして立山連峰の水力エネルギー利用によって始まった素材加工産業を大きな二本柱とする我が国でも有数の工業県です。この科学技術・海洋の分野で「イノベーションを創出できる人材、グローバルな世界で活躍できる人材、そして社会に貢献できる人材」を育成し続けていくことは、我が国そして富山県の将来を導くための重要な課題となっています。

高等専門学校（高専）は、入学の15歳から本科卒業の20歳まで、あるいは専攻科修了の22歳までという高校・大学とは異なるスパンの教育を行いますが、長い人生の中で最も人間として成長するこの時期の若者に、基礎から応用に多くのステップを持つ理工系もしくは高度な専門教育を一貫して行うことは、我が国の科学技術・海洋分野の人材養成に非常に重要です。富山高等専門学校は、本科に機械システム工学科、電気制御システム工学科、物質化学工学科並びに電子情報工学科の工学系4学科と、文系の国際ビジネス学科、そして商船学科という幅広い教育分野の6学科を有する全国唯一の高専であり、本科に引き続く2年間の専攻科では、教育・研究の高度化のための7年一貫の教育を行っています。本科の卒業生の約半数が企業へ就職し、約半数が国立大学3年次への編入学、あるいは本校の専攻科へ進学しています。最近における本校卒業生、修了生の就職・進学実績は、他の高専だけでなく近隣の教育機関を大きく引き離しており、したがって本校は、国内51の高専のトップ校として、我が国及び世界で活躍する技術者、ビジネスパーソン、そして海事技術者を育てることを使命とする有数の高等教育機関になっています。

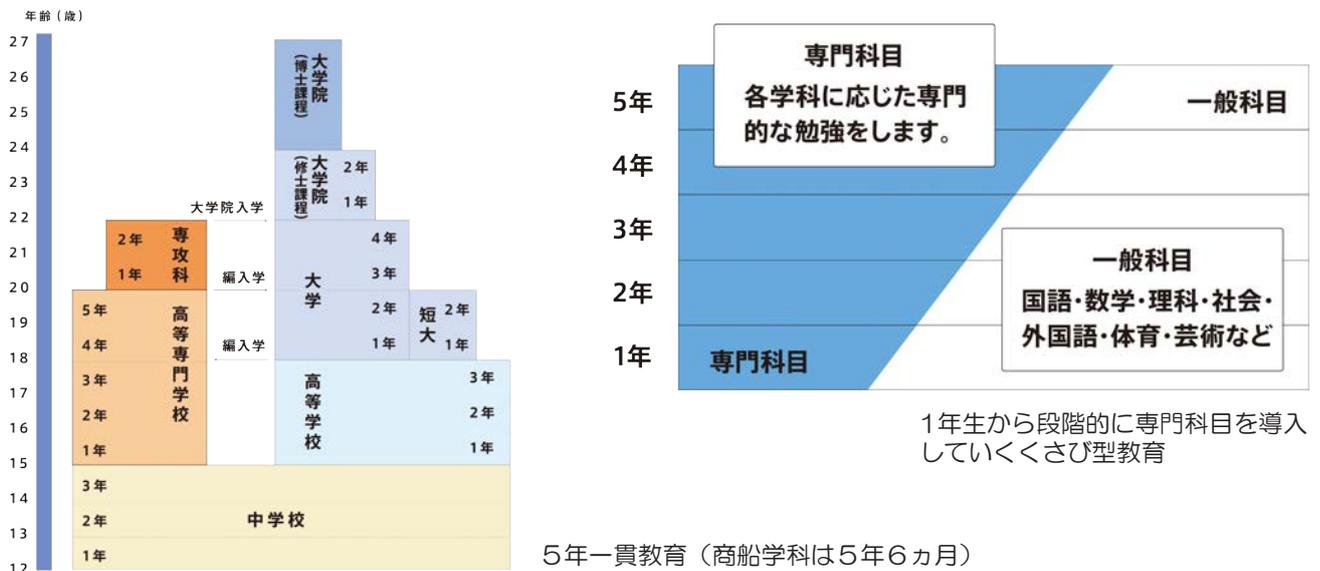
富山高等専門学校はよりその特質を生かして、学生の挑戦とコミュニケーションネットワーク形成をしっかりサポートし、学生が社会に飛び立てるもしくは次のステップに進める姿にする教育、関連の研究また社会貢献を一層充実すべく、教職員一同心に命じておりますので、どうぞ皆様のご指導ご鞭撻をよろしく賜りますようお願いいたします。

■本校の特質

富山高等専門学校は、富山工業高等専門学校（昭和39年設置）と富山商船高等専門学校（昭和42年設置）が、平成21年に高度化再編による統合により設置されました。工学系4学科（機械システム工学科、電気制御システム工学科、物質化学工学科、電子情報工学科）、全国では稀有の文系の国際ビジネス学科、東日本では唯一の商船学科という幅広い教育分野の本科6学科、そしてそれぞれの学科に引き続く専攻科を有する全国でも例のない高専です。国内有数の高等教育研究機関として、また国内57の高等専門学校の学術的・産業的研究分野のトップ校として、科学技術・海洋に関連する高度な研究者、北陸・我が国そして世界で活躍する技術者、ビジネスパーソン、及び海事技術者の育成を行っています。

■15歳からはじまるカリキュライフ

高等専門学校は、高等学校とは異なり、学校制度の中では大学と同じく「高等教育機関」として位置付けられています。例えるなら「中学校卒業から入れるカリキュ」で、「5年一貫教育」「くさび形教育」「実践的教育」という3つの大きな特徴があります。



■本校の強み・地理的特性

富山県は歴史的に、北前船の重要な中継港となってきた海洋県であり、この交易によって始まった製薬産業・化学産業、そして立山連峰のダムエネルギー・水資源利用によって始まった素材加工産業を大きな二本柱とする我が国でも有数の工業県です。県内企業の多くは東南アジアを中心として広く支店網を持つ国際的企業であり、これらの企業の帰国生徒の数も多いです。また、富山県の大学は、富山大学以下4つの4年制大学と2つの短期大学しかなく、県内高等教育機関としての本校の役割は極めて重要となります。

本校の多分野にまたがる15歳からの専門基礎教育（すなわちカリキュ教育）は、我が国の特に海事・ビジネスの分野において、そして富山県の人材供給要請に良く対応しており、それぞれの方針及び地域の産業界から高く評価されています（本校は「15歳からはじまるカリキュライフ」をキャッチコピーとしています）。このことは全国でもトップである高専サポート企業の数及び受託研究共同研究件数にも表れています。また、専攻科生を含めた地元就職率は全国高専中第4位であり、1～3位が東京・名古屋・大阪であることから、地方都市の高専としてはトップです。これらのことから地域産業界への貢献度は非常に高くなっています。



■本校の取り組み

1 学校マネジメントにおける取り組み

1. 教育体制の整備
 - ・将来計画委員会による教育体制改善の検討
 - ・本科1年次混合クラスの実施
 - ・主学科担当・副学科担当制度の検討及び他学科授業の実施
 - ・授業の効率化による教員非補充への対応
2. 両キャンパスのワンカレッジ化
 - ・両キャンパスのクラブ活動の交流促進・対外試合の1チーム化
(野球部はこれまで本郷キャンパスと射水キャンパスが別々に高等学校野球大会に出場していましたが、令和3年度より統合チームとなり、一つのチームとして高等学校野球連盟に登録しています)
 - ・両キャンパス校内行事の統一
 - ・主要教員・事務職員の互いのキャンパス勤務(週2回・20名程度)
 - ・両キャンパス報告書、印刷物の統一
3. 入試広報の強化
 - ・本科学力試験の志望学科枠の全学科への拡大
 - ・校長による中学校訪問
 - ・県外入試広報の強化(カレッジガイド・ポスター・年賀状・卒業式電報・ステッカー・公用車/バスラッピング)
 - ・入試広報、広報物、教育体制などへの学生会を主とした学生の積極的関与
4. ダイバーシティ化
 - ・海外戦略推進による帰国生徒の受け入れ実施及び授業英語化の検討
 - ・少子高齢化に伴う学生の多様化への対応(転学科申し合わせ整備、海外帰国生徒への対応)、高学歴化への対応
(専攻科の拡充・入試制度の見直し、大学の学部修士課程への進学指導體制の構築)
 - ・国際化(シラバス英語版の作成、本科・専攻科授業の英語化の強化、留学生入学・海外インターンシップ(含む海外研修)の助成・拡充)、HP英語版の更新及び中国版の作成、タイ語・インドネシア語の動画字幕作成
5. 地域連携と特色強化
 - ・教員への研究支援(科研費申請A評価者に対する研究助成)
 - ・地域産業界との一層の連携強化(教員・学生及び産業人の相互交流)
 - ・人事委員会、財政委員会による人事評価、財務の明確化
 - ・財政委員会による予算執行の適正化
 - ・寄附金の使用適正化
 - ・校内施設管理及びアメニティ整備強化

2 業務削減・効率化の取り組み

- ・各種会議については、タブレット端末を利用することにより会議資料のペーパーレス化を図り、またキャンパス移動による教職員の負担をなくすために、Microsoft Teams等によるTV会議を実施しています。
- ・年間保守等の委託業務は、スケールメリットを生かして両キャンパス分を一括して契約し、さらに複数年契約を行うことで契約業務の効率化を図っています。また、事務用パソコンは、必要台数を一括契約することで業務の削減及び契約金額の低廉化を図っています。更に本校の電力需要がピークとなる時間帯(冬期の16時~18時頃)においては、デマンド超過しそうな場合は組織的に機器を停止させるなどし、電力使用量を契約電力以下に抑える措置を講じています。
- ・予算の執行については、財政委員会で定期的に経費執行状況の把握を行い、早期執行と適正使用を教職員に周知し、年度末に物品の納入等が偏らないよう図っています。
- ・教員の部活動指導の負担軽減のため、部活動の技術指導や休日の大会等の引率を行うことができる課外活動指導員を採用し、教員の負担軽減を図っています。



キャンパス間交流バス



野球部統合新チーム

3 学力向上・教育力向上の取り組み

学力向上

- ・令和元年度に進学・就職指導室を新設し、就職活動の支援を行うとともに、進学者向けに補講を実施しています。
- ・特命フェローを採用し、補講、キャリア教育を実施しています。
- ・英語力向上のため、3、4年、専攻科1年生全員を対象にTOEIC IPテストを実施し、成績分析に基づく弱点強化対策や継続学習への動機づけ、進捗状況管理を実施しています。本事業に関しては、保護者後援会との連携強化により資金援助策を策定して一部実施しています。
- ・数学、物理などの教科担当教員と専門学科との教科間連携を推進しています。
- ・学生寮における学習会を実施しています。
- ・6学科の1年生を対象に、異なる学科学生でチームを構成し、産業界と連携・協同して、多角的な視点から課題を発見、解決する力を涵養する授業（Ti-TEAM）を実施しています。
- ・本部の教学マネジメントモデル校・とりまとめ校として、CBT（Computer Based Test）結果の教育への活用など教育の質保証に向けた取り組みを行っています。
- ・令和元年に教学IR（Institutional Research）室を設置し、IRに必要なフォーマット作成および教学マネジメントの事例を構築しています。その取り組みが評価され、高専教育の高度化・改善活動を促進するために、令和3年度から富山高専を拠点校として、IRを用いた教学マネジメントを第4期中（令和3年度から令和5年度まで）に全高専にて導入・推進する「IRを用いた教学マネジメント推進事業」が実施されています。
- ・保護者後援会のご支援のもと、先端的な教育活動として学識者による特別講演会を実施しています。令和3年度は6月に富山市芸術文化ホール（オーバード・ホール）及び本校において、学生会の催しとして、吹奏楽部による校歌演奏、フリースタイルダンス部による発表を行ったのち、東京大学大学院工学系研究科教授・日本ディープレニング協会理事長の松尾 豊 先生から、「AIの未来と高専の可能性」と題してご講演いただきました。新型コロナウイルス対策等もあり、遠隔でのご講演を、本科1～3年生はオーバード・ホール、4年生以上は本校と分かれて聴講しました。松尾先生には、AIについて学生に向けてわかりやすくご説明いただき、また学生からの質問にも丁寧にお答えいただきました。



特別講演会 吹奏楽部の演奏

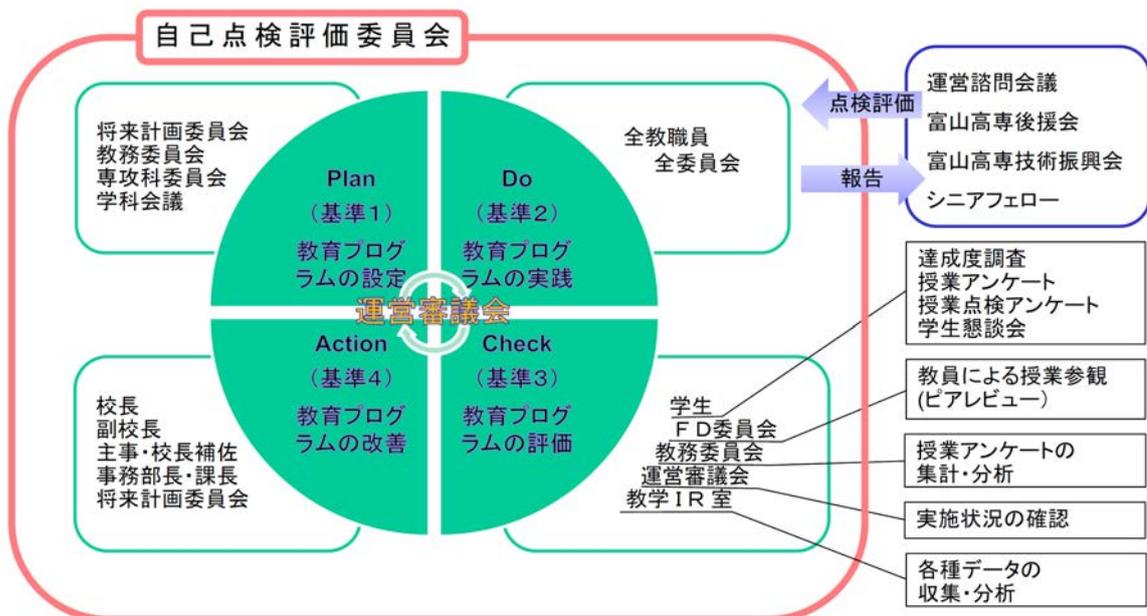


Ti-TEAM交流イベントと優秀学生表彰



教育力向上

- ・学生生活指導を含めた教員の教育力を向上させるため、外部講師によるFD研修会を実施しています。
- ・教員間の授業参観（ピアレビュー）を継続して実施しています。
- ・学生による授業アンケートを継続して実施し、FD委員会でPDCAサイクルによりチェックしています。
- ・令和2年度より全学科においてBYODを活用した教育の高度化や学校からの連絡の効率化を図っています。



4 原級留置・休学・退学者の改善に向けた取り組み

原級留置・休学・退学となる主な理由としては学力不振が考えられます。その背景は多岐にわたり、学科専門とのミスマッチ感、家庭の生活環境によるメンタルな問題などが挙げられます。本校は、教務指導、生活指導、寮生活指導など学校全体として改善を行っています。特に低学年学生の留年・休学・退学を低減する以下の取り組みを行い、全国立高専の中で最も低い水準としています。

具体的な取り組み

- ・教科担当及び教務委員会主導による学力不振学生を対象とした補講を実施しています。
- ・朝のショートホームルームや出席確認時間を確保し、問題を抱える学生の早期発見体制を実施しています。
- ・Web出席簿を整備し、リアルタイムに学生の出席状況を確認する仕組みを構築・運用しています。
- ・令和2年度より、1年生は混合クラスとして運営しています。

校内で学科を越えた人間関係を築かせ、学校になじみやすい環境の構築に努めています。

- ・補習、追試験の実施方法や単位認定基準・進級要件の変更可能性などを検討・実施しています。
- ・各教科の未修得割合と科目平均点をグラフ化し、原級留置率や退学率との関係を分析しています。
- ・各教科の成績分布ヒストグラムを作成し、全教員に対して授業改善を働きかけています。
- ・教務委員会や自己点検評価委員会等において、現状のデータを共有し、改善に向けて検討を行っています。
- ・学生・保護者との連絡体制の強化を担当および学科長に依頼し、改善に努めています。
- ・未修得科目の単位追認試験を当該年度内に実施し、成績不振学生の学習を促しています。
- ・新入学生に対して高専手帳を配布し、学習を計画的に行うように指導しています。

5 研究力向上・地域との連携等の取り組み

研究力向上のため、長岡技術科学大学等との間で機器共用ネットワーク事業を実施するなど、他機関と連携した研究を推進しています。また、高専間では、第3ブロック（東海・北陸・関西地区）研究推進ボード、本校技術振興会と連携した研究推進フォーラムを開催し、第3ブロック専攻科研究フォーラムに参加しています。外部資金の獲得については、科研費申請の重要性を教員に認識させるため、科研費関連講習会を開催しているほか、採択率アップのため、本校独自の科研費申請調査読システムを構築し申請書のブラッシュアップを行っています。また、科研費以外のJSTや財団等の外部資金についても公募情報を校内に積極的に発信しています。

一方、地域との連携については、国立高専最大級の会員数である富山高等専門学校技術振興会のイベントや、本校と共催するとやまKOSENコラボフォーラムにおいて、本校教職員、会員企業および本校学生のネットワーク構築を推進しています。この地域の支援を生かし、令和元年度からは会員企業42社を対象に、本科1年生全学生が企業の調査・資料作成プレゼンテーションを行う授業（Ti-TEAM）を実施しています。

また、科学技術振興機構事業において、小中学校を対象に将来の研究者の卵を発掘・育成を目的としてジュニアドクター育成塾を開講し、令和2年度は海洋科学やロボットプログラミングをはじめ、幅広い分野の学びを提供しました。

6 男女共同参画推進のための取り組み

学生募集にあたっては、女子学生が学びやすい環境が整えられていること、女子学生の卒業後の進路先の実績があることを強調しています。文系学科である国際ビジネス学科の女子学生割合が非常に高いことが、他の工学系学科の女子学生増にも影響しており、女子学生比率・女子学生数ともに全国高専の中ではトップになっています。また女性教授の数は多いのですが、助教・講師の女性教員が少ないため、令和3年度から男女共同参画担当校長補佐を配置し、教員採用に関しては、ダイバーシティの観点から多様な人材を求めていることを明記し、積極的に女性を採用しています。

施設面では、女子トイレを中心に学校施設や学生寮の改修・利用形態の改善を計画的に進めています。

運用面では、従来の学科での指導に加えて、混合学級を導入し、1年生から女子学生のプレゼンスをあげるような学習・生活指導を行うなど、女性の意欲的な姿勢を評価し、責任ある立場で働けるように配慮しています。



第3ブロック研究推進ボード



ジュニアドクター育成塾

7 同窓会との連携した取り組み

学校側からの同窓会への協力

- ・令和元年、本校は統合再編から10周年を迎え、この機会に統合高専としての新たな同窓会「富山高等専門学校同窓会」を設立しました。この新同窓会は統合後の卒業生を中心に組織され、旧富山工業高等専門学校の同窓会（ほんごう会）および旧富山商船高等専門学校の同窓会（北斗会）と連携を図りながら活動を行うこととし、学校と同窓会の窓口を一本化しました。

同窓会側からの学校への支援・協力

- ・富山高等専門学校同窓会には、式典や運営諮問会議等の学校行事、保護者会・学生会との情報交換会への参画をいただいているとともに、以下の支援・協力をいただいています。
 - (1)課外活動、課外行事への資金援助
 - (2)同窓会支部（北海道、東北、関東、新潟、関西）を通じた遠隔地での入試広報活動（パンフレット配布）
 - (3)本校の教育研究、学生の就職を支援する組織（富山高等専門学校技術振興会や一般社団法人全日本船舶職員協会等）への協賛
 - (4)練習船の代船建造推進に係る活動への参画
 - (5)海外からの帰国生徒・留学生の本校への入学促進を目的とした、海外在住の同窓生のネットワークの構築

8 教育の国際化への取り組み

教育の国際化のため、国際教育センターを設置し積極的に教育の国際化に取り組んでいます。同センターは海外の協定締結機関（15件）を有効に活用し、各学科・専攻科と共同して以下の事業を行っています。

・学生の海外派遣

2週間程度の海外企業へのインターンシップや1ヶ月の海外大学でのアカデミックインターンシップ、半年・1年の留学等を行っています（令和元年度 計27名）。更に、学生の国際会議での発表を推進するための取り組みについて、検討を行っています。また、トビタテ！留学JAPANへの応募、採択数向上を目指していますが、これまで高校生コースにおいて、5名（2期）、4名（3期）、2名（4期）、7名（5期）と高い採択の実績があり、大学生コースにおいても継続的に1名（4期）、1名（5期）、2名（6期）の採択された実績があります。

・短期留学生受入

シンガポール・タイから滞在期間2～3ヶ月の短期留学生を受入れ、キャンパスや寮に常に短期留学生がいる環境を作り出しています（令和元年度 計19名）。留学生との交流を通じ、学生に国際的な感覚を身につけさせるよう努めています。

・タイ政府派遣留学生の受入

タイ政府奨学金留学生の受け入れが採択され、令和4年度から3名を受け入れます。また、第3ブロックの拠点校としてグローバル活動のノウハウを蓄積し、全国の高専へ展開しています。

・教員の派遣

海外協定校をはじめ、各種国際シンポジウムへの参加を促しています（令和元年度 40名派遣）。また1～2ヶ月の期間、研究活動等を行うため海外協定校に本校の独自事業として教員を派遣しています（令和元年度は1名派遣予定であったが、新型コロナウイルスの影響のため中止）。教員の研究力の向上と合わせて、学生教育への還元を目指しています。

・海外教員の受入

国際シンポジウムや研究推進フォーラムを定期的開催し、招聘した海外研究者が専攻科学生の研究発表にアドバイスをする等、学生教育の高度化を図っています。

・学生の海外研修旅行

2年生希望者を対象とした海外研修を予定しております。新型コロナウイルス感染症の流行状況を踏まえ実施に向け検討を進めています。



同窓会北斗会東北支部との意見交換会



東呉大学（台湾）との記念品交換

9 危機管理(情報セキュリティ・学生の事故防止)への取り組み

- ・緊急Teamsネットワーク(校長、副校長、事務部長他関係者)を設置し、新型コロナウイルス感染対策等について夜間・休日に、自宅等学外からの会議を開催しています。また、夜間や休日に関係者が自宅等からHP掲載情報を更新し、学生・教職員への緊急周知を行っています。
- ・情報セキュリティについては、インシデント発生時の連絡フロー・手順ならびに時間外勤務をサポートする体制を整備し、連絡フロー・手順について、実際に時間外に発生したインシデントにおいて実効性を確認しています。
- ・複写機に備わるスキャンデータのメール送信機能を無効化し、スキャンデータが意図せず学外に送信されないように運用を変更し、無効化したメール送信機能の代替として、学内ストレージに利用者別にスキャンデータを格納する仕組みを整備しています。
- ・学生の事故防止については、専属のカウンセラーを2名雇用する等、学生相談体制を拡充しています。教職員及び各種専門人材が全校的チームを組み、学内主要箇所にウェブカメラを増設するとともに本校学生一人一人を見守る体制を構築・運用しています。
- ・重大な災害・事故等緊急時において速やかに情報発信が行えるようオンライン緊急連絡システムを構築しています。同システムには全教職員、学生及び保護者が携帯電話メールアドレス等を登録しています。また、学校は送信した電子メールの開封状況を確認できるようになっており、教職員、学生等の安否確認にも活用しています。
- ・平成30年度からWeb出席簿を導入し、関係者が随時学生の出席状況を確認できるようにしています。
- ・情報セキュリティレベルの維持向上のため、Microsoft365および本校メールについて、全学生及び全教職員に多要素認証を導入しています。

10 混合学級およびBYOD(Bring Your Own Device)の取り組み

混合学級：本郷キャンパス(平成31年4月1日～) 機械システム工学科 電気制御システム工学科 物質化学工学科
射水キャンパス(令和2年4月1日～) 電子情報工学科 国際ビジネス学科 商船学科

- ・各キャンパスにおいて、1学年時は3学科混合の学級編成を行っています。なお、2学年以降は学科別学級編成となります。混合学級の実施により、男女比や学科間の学力格差を緩和し、基礎学力の充実を図っています。また、学科の枠を超えた人間関係の構築も目的としており、2年生以降の学業生活、卒業後の人間関係など、様々な教育効果があります。

BYOD(Bring Your Own Device)

- ・本校では、電子情報工学科において平成8年から学生に可搬型PCを購入・持参させ、授業・実習を実施していましたが、令和2年4月入学生より全学科に展開し、普通の授業や連絡に活用しています。(「自分の端末を持参する」という意味で、BYOD: Bring Your Own Device と呼ばれています。) 授業・自習での活用を通じた教育の高度化や、学校からの連絡の効率化等を行っています。

11 新型コロナウイルス感染症対策としての取り組み

- ・本校では令和2年度の新型コロナウイルス感染症対策として、入学式の取り止め後、4月7日(火)から10日(金)まで部分登校・遠隔授業の試行、13日(月)から全校在宅による遠隔授業、6月8日(月)から全校対面授業の開始し、基本的に授業の空白期間は作らないようにしました。以降、感染症対策を継続しながら授業を継続しています。緊急対応として、全国の大学・高専の中で最も早く在宅による遠隔授業を実施しましたが、本取り組みを通じて新たな授業形態を模索することによって各教員の授業改善が促進され、教育力向上につながっています。
- ・令和3年度においては、5月23日(日)から28日(金)にかけて6名の本校関係者が新型コロナウイルスに感染しました。保健所のご指導の下、細心の注意を払い全教職員が感染拡大防止に取り組んだ結果、遠隔授業の実施後、6月3日(木)から順次、対面授業を再開できました。また感染者は、幸いにも重症化することはありませんでした。
- ・本校では新型コロナウイルス感染症対策として、マスクの着用、手指の消毒及び検温等の対策を徹底するとともに、急な遠隔授業に対応できるよう日頃から準備しています。また、感染者発生時における校内連絡体制の整備、家庭における遠隔授業環境の整備(ネットワーク環境の整備、学生用PC・プリンターの調達)等、教育力向上につながっています。



遠隔授業のようす



感染症対策に関するFD研修会

■本校の教育目標

1「専門知識・技術を有し、将来、研究開発やビジネスをリードする能力を有した人材の育成」

高等専門学校は、「実践的・専門的な知識・技術を有する創造的な人材の育成」です。この目的に沿って、学生の一人一人の希望と社会のニーズに適合した人材、特に地域産業界において研究開発やビジネスをリードできる人材の育成に努めます。

2「自ら考え、主張し、行動する主体性を有した人材の育成」

社会で専門知識・技術を活かすには、自分の考えを人に伝え、周囲の協力を得ながら行動することが重要です。そのため、まず自分の頭で考えることのできる創意工夫の態度を持った人材、さらに主体性を持って行動することのできる人材の育成に努めます。

3「豊かな教養と倫理観を有し、他者や地球との共生の精神を有した人材の育成」

研究開発やビジネスをリードするには、技術やビジネスが社会や自然に及ぼす影響や効果を理解し、技術者やビジネスパーソンが社会に負っている責任について認識することが重要です。そのため、技術者倫理を尊重し、また自然や地球との共生の精神を持った人材の育成に努めます。

■準学士課程(本科)アドミッションポリシー(求める人材像)

富山高等専門学校は、次の3つを教育理念としています。

- (1) 専門知識・技術を有し、将来、研究開発やビジネスをリードする能力を有した人材の育成 (創意・創造)
- (2) 自ら考え、主張し、行動する主体性を有した人材の育成 (自主・自律)
- (3) 豊かな教養と倫理観を有し、他者や地球との共生の精神を有した人材の育成 (共存・共生)

本校ではこの理念に基づいて、①中学までに基礎的な知識・技能を修得し、②自分の考えや判断を他者に伝える表現力を持ち、③主体的に他者と協働できる人を求めています。

特に各学科では次のような人を求めています。

機械システム工学科

求める学生像

- 1 自動車・航空機、ロボット、スポーツや医療分野などで人々に役立つ機械に興味がある人
- 2 機械を設計する、つくる、動かす、制御する知識と技術を身に付けたい人
- 3 機械の設計・開発で、人々の生活を豊かにし、社会に貢献したい人

電気制御システム工学科

求める学生像

- 1 電子工作やコンピュータなどのものづくりやプログラミングに興味がある人
- 2 ロボットや人工知能技術のように電気、電子、情報技術を融合した知識を身に付けたい人
- 3 創意工夫により新しい技術を作り出し、社会に貢献したい人

物質化学工学科

求める学生像

- 1 身のまわりや自然界にある化学・生命の現象にワクワクする人
- 2 実験が好きで、身に付けた技術を化学や環境の分野で役立てたい人
- 3 最先端の化学を活用して、広く産業の発展に貢献できる技術者を目指す人

電子情報工学科

求める学生像

- 1 ものづくりが好きでコンピュータに興味がある人
- 2 情報、電子、通信の基礎技術からAI・IoTへの応用技術を身に付けたい人
- 3 自ら考えて行動できるエンジニアになって社会に貢献したい人

国際ビジネス学科

求める学生像

- 1 外国語や異文化に興味がある人
- 2 ビジネス分野の知識を身に付けたい人
- 3 国際的な視野をもって社会で活躍したい人

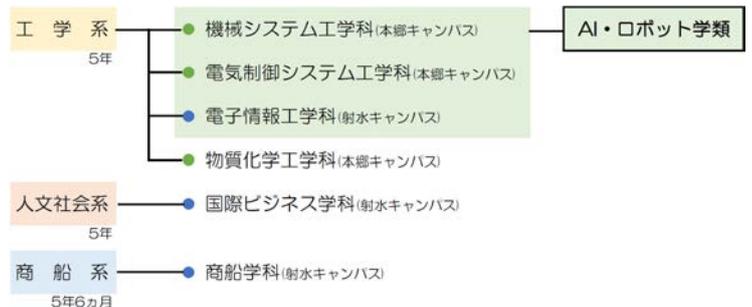
商船学科

求める学生像

- 1 海や自然が好きの人
- 2 大型船の船長や機関長をめざす人
- 3 大きな機械のエンジニアをめざす人
- 4 世界中の国々で活躍したい人

■AI・ロボット学類

機械システム工学科、電気制御システム工学科、電子情報工学科の3学科で「AI・ロボット学類」を構成します。ここでは、機械工学、電気電子工学、情報工学の知識を融合して、AIおよびロボットに関する専門的技術が学べます。



■専攻科アドミッションポリシー

本校専攻科では、幅広い豊かな教養と高度な専門知識を有する人材の育成を行っています。

求める学生像(専攻科共通)

- 1 専門の基礎学力をさらに深め、実践力と複眼的な視野を有するデザイン能力を身につけたい人
- 2 研究・開発能力を身につけたいと考え、自主的、継続的に努力できる人
- 3 社会人としての倫理を尊重し、グローバルな視野を有する専門家として貢献したい人

教育システムに関する外部（第三者）評価

1 大学改革支援・学位授与機構による認証評価

高等専門学校は、教育研究活動等の状況について、一定期間ごとに文部科学大臣から認証を受けた評価機関による評価（認証評価）を受けることが義務付けられています。

富山商船高等専門学校では平成17年度に、また、富山工業高等専門学校では平成19年度に高等専門学校機関別認証評価を受審し、高等専門学校評価基準を満たしていることの認定を受けています。なお、統合後は平成28年度に受審し、認定を受けています。

認証評価は、

1. 大学改革支援・学位授与機構が定める高等専門学校評価基準に基づいて、高等専門学校を定期的に評価することにより、教育研究活動等の質を保証すること。
2. 評価結果を各高等専門学校にフィードバックすることにより、各高等専門学校の教育研究活動等の改善に役立てること。
3. 高等専門学校の教育研究活動等の状況を明らかにし、それを社会に示すことにより、公共的な機関として高等専門学校が設置・運営されることについて、広く国民の理解と支持が得られるよう支援・促進していくこと。

を目的として実施されており、本校の教育研究活動等の状況を社会に積極的に提供するため、評価報告書（評価結果）及び自己評価書がホームページ上で公表されています。

2 大学改革支援・学位授与機構による専攻科に関する審査

本校は、6学科に対応する4専攻（エコデザイン工学専攻、制御情報システム工学専攻、国際ビジネス学専攻、及び海事システム工学専攻）からなる専攻科を設置しています。専攻科の教育システムは、5年間に一度、大学改革支援・学位授与機構による審査を受けることになっており、本校専攻科は、統合した平成21年度に審査を受け、認定されました。

エコデザイン工学専攻、制御情報システム工学専攻、国際ビジネス学専攻、及び海事システム工学専攻の4専攻が大学改革支援・学位授与機構から学士の学位の授与に係る特例の適用認定を受けています。これにより、エコデザイン工学専攻、制御情報システム工学専攻、及び海事システム工学専攻は、平成26年度入学生から、国際ビジネス学専攻は、平成27年度入学生から、当該専攻の最終学年に在学し、当該学年末に修了の見込み者が行う学士の学位の授与申請については、学修成果に関する試験が免除され、提出書類が簡略化されています。

※特例の適用認定とは、「短期大学及び高等専門学校の専攻科の認定に関する規則」第2条の規定に基づき認定された専攻科「認定専攻科」という。）のうち、「学位規則第6条1項の規定に基づく学士の学位の授与に係る特例に関する規則」に定める要件を満たせば、学士の学位の授与に係る特例の適用認定を受けた専攻科（「特例適用専攻科」という。）になることです。

3 JABEE（日本技術者教育認定機構）認定

富山高専では、「エコデザイン工学」教育プログラム(Education Program for Ecodesign Engineering)、ならびに「制御情報システム工学」教育プログラム（Education Program for Control Information System Engineering）の2つを工学系専攻で実施しています。これらの教育プログラムは、国際化に対応した技術者教育を行っている高等教育機関として、日本技術者教育認定機構(Japan Accreditation Board for Engineering Education, JABEE)より認定を受けています。これにより、専攻科エコデザイン工学専攻および専攻科制御情報システム工学専攻の修了生は、JABEEの認定プログラム修了生として国家資格「技術士」の第一次試験が免除され、修習技術者として認められます。

- ・「エコデザイン工学」教育プログラム（2004年度より認定）
本科の機械システム工学科、電気制御システム工学科、物質化学工学科4・5年と、専攻科エコデザイン工学専攻のカリキュラム履修者が対象となります。
- ・「制御情報システム工学」教育プログラム（2008年度より認定）
本科の電子情報工学科の4・5年と、専攻科制御情報システム工学専攻のカリキュラム履修者が対象となります。

4 商船学科のSTCW教育機関としての認定審査

商船学科の教育プログラムは、卒業時の海技士資格(国際標準)取得を目指すものとなっており、教育プログラムについては、5年に一度、国土交通省による審査を受けています。国土交通省は、日本の船舶職員教育機関の教育プログラムがSTCW（Standards of Training, Certification and Watchkeeping for Seafarers）条約を満たしていることを審査・認定し、IMO（国際海事機関）に報告しています。富山高等専門学校の商船学科は、このSTCW条約に基づく資質基準制度により、適正な船舶職員養成機関として認定されています。

5 数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定（リテラシーレベル）

AI戦略2019に示された「数理・データサイエンス・AI」は、デジタルトランスフォーメーション（DX）社会の「読み・書き・そろばん」です。

富山高専では、平成29年度入学生から全学科（機械システム、電気制御システム、物質化学、電子情報、国際ビジネス、商船）の学生に対し、数理・データサイエンス・AI教育（リテラシーレベル）を実施しています。この富山高等専門学校の教育プログラムは、内閣府・文部科学省・経済産業省の3府省が連携し公募を行っていた「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）」（第1回）に富山県内で初めて令和3年6月に認定されました。同認定制度は、学生の数理・データサイエンス・AIへの関心を高め、かつ、数理・データサイエンス・AIを適切に理解し、それを活用する基礎的な能力を育成することを目的としています。数理・データサイエンス・AIに関する知識及び技術について体系的な教育を行うものを文部科学大臣が認定及び選定して奨励することにより、数理・データサイエンス・AIに関する基礎的な能力の向上を図る機会の拡大に資するものです。

また、令和3年からの新カリキュラムでは、1年生の全学必修科目「データサイエンスⅠ,Ⅱ」を開講し、教育プログラムの改善、進化に努めています。



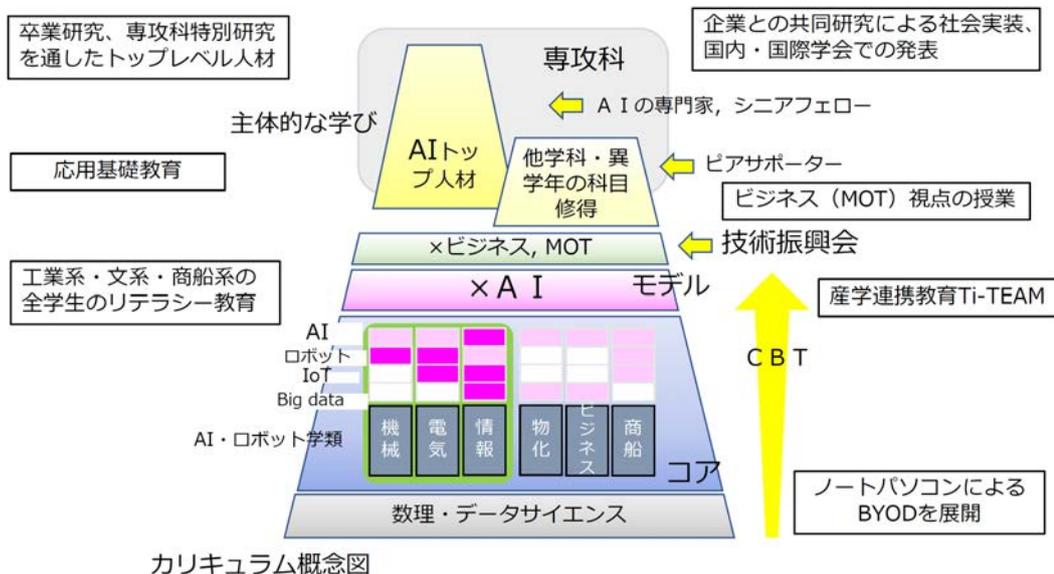
認定の有効期限：
令和8年3月31日まで

教育改革に向けた主な取り組み

デジタル社会の「読み・書き・そろばん」である「数理・データサイエンス・AI」の基礎などの必要な力を**全ての国民**が育み、あらゆる分野で人材が活躍



Society5.0で「たくましく生きる」人材：専門×データ・AI



※Ti-TEAM：Team Initiatives based on cooperative Education to support the Ability to discover and solve problems from Multiple perspectives の略

■本校の沿革

旧 富山工業高等専門学校

- 昭和39年 4月 富山工業高等専門学校設置（機械工学科、電気工学科、工業化学科）
- 昭和44年 4月 金属工学科設置
- 平成元年 4月 工業化学科を物質工学科に改組
- 平成5年 4月 専攻科設置（機械・電気システム工学専攻、機能材料工学専攻）
- 平成6年10月 富山工業高等専門学校創立30周年記念エコテクノロジーに関するアジア国際シンポジウム－富山'94開催
- 平成7年 4月 金属工学科を環境材料工学科に改組
- 平成16年 4月 独立行政法人移行（独立行政法人国立高等専門学校機構設置）
- 平成17年 5月 JABEE（日本技術者教育認定機構）の認定（「エコデザイン工学」プログラム）
- 平成19年10月 第14回エコテクノロジーに関するアジア国際シンポジウムを大韓民国 慶熙大学校において開催（主催：国立高等専門学校機構 主管：富山工業高等専門学校）
- 平成19年11月 財団法人地球環境戦略研究機関 持続性センターによるエコアクション21 認証・登録
- 平成20年 3月 独立行政法人大学評価・学位授与機構による高等専門学校機関別認証評価の認定

旧 富山商船高等専門学校

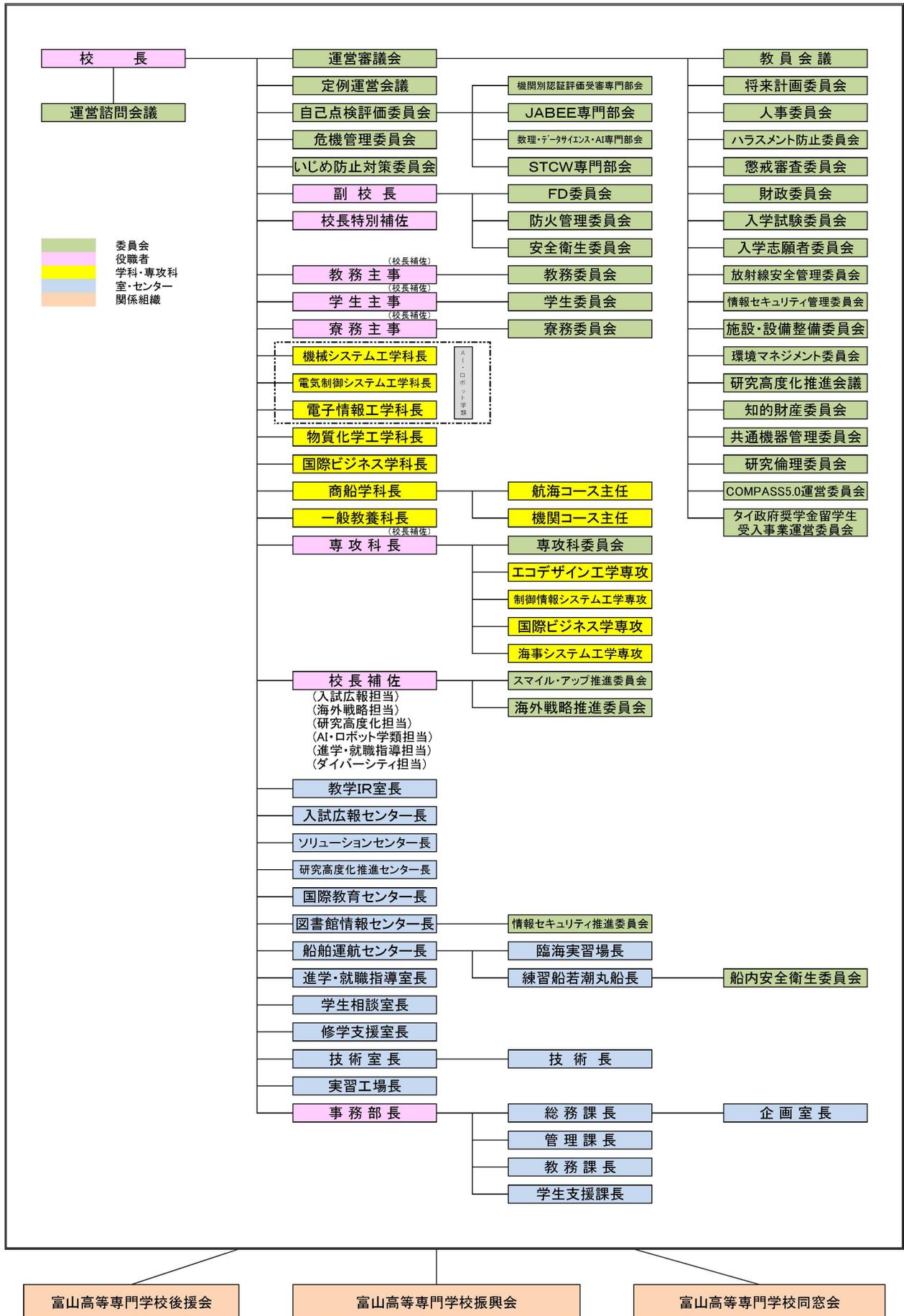
- 明治39年 7月 新湊町立新湊甲種商船学校創立
- 明治42年 4月 富山県へ移管、富山県立商船学校となる
- 昭和14年 8月 文部省へ移管、富山商船学校となる
- 昭和17年 1月 逓信省所管となる
- 昭和18年11月 運輸通信省所管となる
- 昭和20年 5月 運輸省所管となる
- 昭和26年 4月 文部省へ移管、富山商船高等学校となる
- 昭和42年 6月 富山商船高等専門学校となる（航海学科、機関学科）
- 昭和44年 4月 現在地（新湊市海老江練合）に移転 航海学科1学級増
- 昭和60年 4月 航海学科2学級を1学級に改組及び情報工学科を設置
- 昭和63年 4月 航海学科及び機関学科を商船学科（航海コース、機関コース）に改組及び電子制御工学科を設置
- 平成8年 4月 国際流通学科設置
- 平成16年 4月 独立行政法人移行（独立行政法人国立高等専門学校機構設置）
- 平成17年 4月 専攻科設置（海事システム工学専攻、制御情報システム工学専攻）
- 平成18年 3月 独立行政法人大学評価・学位授与機構による高等専門学校機関別認証評価の認定
- 平成18年10月 創立100周年記念式典を挙げる
- 平成21年 4月 JABEE(日本技術者教育認定機構)の認定（「制御情報システム工学」プログラム）

富山高等専門学校

- 平成21年10月 富山高等専門学校設置（機械システム工学科、電気制御システム工学科、物質化学工学科、電子情報工学科、国際ビジネス学科、商船学科及び専攻科エコデザイン工学専攻（機械・電気システム工学コース、機能材料工学コース）、制御情報システム工学専攻、国際ビジネス学専攻、海事システム工学専攻）
- 平成22年 4月 新学科生、専攻科生受入
- 平成27年 3月 第1回卒業式、修了式挙げる
- 平成27年 4月 専攻科エコデザイン工学専攻（機械・電気システム工学コース、機能材料工学コース）をエコデザイン工学専攻に改組
- 平成27年10月 創立50周年・創基110周年記念式典を挙げる
- 平成29年 3月 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構による高等専門学校機関別認証評価の認定
- 令和元年 6月 統合10周年記念式典を挙げる

組織図

令和3年10月20日現在



■ 役職者名簿

校長	賞 雅 寛 而
副校長（総務担当）	高 田 英 治
副校長（教育担当）	塚 田 章
副校長（ワンカレッジ化担当）	山 本 桂一郎
校長特別補佐	柴 田 博 司
教務主事（入試担当）	井 上 誠
教務主事（カリキュラム担当）	小 熊 博
学生主事（学生活動担当）	河 合 孝 恵
学生主事（厚生担当）	寺 崎 由紀子
寮務主事（施設担当）	日 比 端 洋
寮務主事（厚生担当）	楽 山 進
校長補佐（入試広報担当）	保 前 友 高
校長補佐（海外戦略担当）	岡 根 正 樹
校長補佐（研究高度化担当）	袋 布 昌 幹
校長補佐（AI・ロボット学類担当）	佐 瀬 直 樹
校長補佐（進学・就職指導担当）	高 廣 政 彦
校長補佐（ダイバーシティ担当）	青 山 晶 子

学科等	
機械システム工学科長	佐 瀬 直 樹
電気制御システム工学科長	佐 藤 圭 祐
物質化学工学科長	峰 本 康 正
電子情報工学科長	阿 蘇 義 弘
国際ビジネス学科長	松 原 義 弘
商船学科長	笹 谷 敬 二
航海コース主任	向 瀬 紀一郎
機関コース主任	保 前 友 高
一般教養科長	森 田 康 文
主任	河 原 治 希
主任	山 本 有 希

専攻科	
専攻科長（校長補佐）	山 本 桂一郎
副専攻科長	百 生 登 輔
副専攻科長	秋 口 俊 輔

入試広報センター	
入試広報センター長	保 前 友 高
副センター長	山 口 晃 史
副センター長	紙 谷 智

ソリューションセンター	
ソリューションセンター長	宮 重 徹 也
副センター長	山 本 久 嗣

研究高度化推進センター	
研究高度化推進センター長	袋 布 昌 幹
副センター長	福 田 知 博

国際教育センター	
国際教育センター長	古 山 彰 一
副センター長	豊 嶋 剛 司
副センター長	清 剛 治

図書館情報センター	
図書館情報センター長	椎 名 徹 樹
副センター長	井 澤 正 樹
副センター長	萩 原 信 吾

船舶運航センター		
船舶運航センター長	中 谷 俊 彦	
臨海実習場長	松 村 茂 実	
練習船若潮丸船長	金 山 恵 美	

進学・就職指導室	
進学・就職指導室長	高 廣 政 彦

学生相談室	
学生相談室長	宮 崎 衣 澄

修学支援室	
修学支援室長	塚 田 章

教学IR室	
教学IR室長	塚 田 章

技術室	
技術室長	高 田 英 治
技術長	早 川 幸 弘

実習工場	
実習工場長	早 川 幸 弘

事務部		
事務部長	山 内 浩 一	
総務課長	新 木 裕 一	
管理課長	松 田 義 弘	
教務課長	米 内 治 敏	
学生支援課長	麻 草	

■ 教職員の現員

教職員等数		令和3年5月1日
教 員	校 長	1
	教 授	45
	准 教 授	47
	講 師	10
	助 教	10
	助 手	1
	小 計	114
職 員	事 務 職 員	60
	技 術 職 員	25
	小 計	85
合 計		199

所属別教員数

学 科 等	機 械 シ ス テ ム 工 学 科	12
	電 気 制 御 シ ス テ ム 工 学 科	14
	物 質 化 学 工 学 科	15
	電 子 情 報 工 学 科	14
	国 際 ビ ジ ネ ス 学 科	11
	商 船 学 科	12
	一 般 教 養 科	31
練 習 船 若 潮 丸		4
合 計		113

3 学科紹介

■ 機械システム工学科

本物を追い求め、それを具現化する君たちへ 夢の実現は、いつだって「機械」からはじまる

飛行機、自動車、ロボット、オートバイ、鉄道車両、医療機器、福祉用具…。
これらはすべて機械工学の賜。スマホやゲーム機、化粧品だって、機械工学
なしには作れません。

機械、電気、材料、制御、情報…、あらゆる知識を身につけ、未来を切り拓く
創造的なエンジニアを目指せ。

機械工学の真髄は、機械システム工学科にあり。



機械システム工学科 教育目標

機械学工学およびメカトロニクスの知識と技術を総合的に身につけ、機械設計・開発ができる技術者を育成します。

機械設計・生産、材料、ダイナミクス、エネルギー、計測と制御などの機械システム工学の基礎知識を活用できる技術者を育成します。

機械工学的に考える能力を身につけ、産業分野だけでなく人々の生活で役立つ最先端な機械の設計・開発へと展開できる創造性・探求心豊かな技術者を育成します。

Curriculum

科目区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	データサイエンスⅠ	1	1					
	データサイエンスⅡ	1	1					
	メカトロニクス入門	1	1					
	機械製図Ⅰ	1	1					
	情報処理	1		1				
	CAD工学	1		1				
	製造と加工Ⅰ	1		1				
	基礎材料工学Ⅰ	1		1				
	メカトロニクスⅠ	1		1				
	機械実習Ⅰ	2		2				
	機械設計Ⅰ	2			2			
	材料力学Ⅰ	1			1			
	工業力学Ⅰ	1			1			
	熱力学Ⅰ	1			1			
	流体工学Ⅰ	1			1			
	機械実習Ⅱ	2			2			
	機械実習Ⅲ	2			2			
	機械実験Ⅰ	2				2		
	機械実験Ⅱ	2				2		
	メカトロニクスⅡ	1				1		
	基礎研究	2				2		
	AI・MOTⅠ	1				1		
	AI・MOTⅡ	1				1		
卒業研究	12						12	
計	42		4	7	10	9	12	
選択科目	機械製図Ⅱ#	2	2					
	製造と加工Ⅱ#	1		1				
	基礎材料工学Ⅱ#	1		1				
	機械設計Ⅱ#	2			2			
	材料力学Ⅱ#	1			1			
	工業力学Ⅱ#	1			1			
	応用物理#	1			1			
	応用数学Ⅰ#	1			1			
	インターシップ	2					2	
	フログラミング#	1					1	
	設計製図Ⅰ#	2					2	
	設計製図Ⅱ#	2					2	
	材料力学Ⅲ#	2					2	
	機構学#	2					2	
	機械力学#	2					2	
	計測制御#	2					2	
	熱力学Ⅱ#	2					2	
	流体工学Ⅱ#	2					2	
	応用数学Ⅱ#	1					1	
	応用数学Ⅲ#	2					2	
	機械システム工学特論	1						1
	数値解法	2						2
	生産管理	2						2
	材料強度学	2						2
	弾塑性力学	2						2
	材料工学	2						2
	振動工学	2						2
	制御工学	2						2
	伝熱工学	2						2
エネルギー機械	2						2	
AI・ロボット科目群※	4						4	
修得すべき単位数	82単位以上							

※ AI・ロボット科目群については、学類内の他学科の科目を4単位まで取得可能とする。

選択できる科目については別に定める。

は必修科目とする。

■電気制御システム工学科

ロボット、情報システムからエネルギーまで —未来を支え創造するエンジニアに—

電気、電子や情報通信分野を基礎から先端技術までバランスよく学び、実験・実習を通して、それぞれの分野にまたがる応用力を身につけた実践的技術者を育成します。

卒業後は電気技術者・情報技術者、または、それらを融合したロボットや人工知能などを開発する技術者など社会を支え、人の暮らしを豊かにするスペシャリストとしての活躍が期待されます。



電気制御システム工学科

教育目標

電気工学、電子工学やコンピュータ、情報処理に関連する技術を総合的に学び、創造的な技術開発ができる技術者を育成します。

エネルギーや情報通信など幅広い分野で社会を支えるシステム開発ができる技術者を育成します。

ロボットや人工知能など先端かつ融合的分野で人の暮らしに役立つ情報システム作りができる技術者を育成します。

Curriculum

科目区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	電気電子基礎	2	2					
	データサイエンスⅠ	1	1					
	データサイエンスⅡ	1	1					
	電気電子基礎工学実験	3	3					
	基礎電気工学	1		1				
	電気回路Ⅰ	1		1				
	電気磁気学Ⅰ	1		1				
	電気電子工学実験	2		2				
	情報システム実習	2			2			
	システム工学実験Ⅰ	2			2			
	AI・MOTⅠ	1				1		
	AI・MOTⅡ	1				1		
	システム工学実験Ⅱ	2				2		
	システム工学実験Ⅲ	2				2		
基礎研究	1				1			
卒業研究	12					12		
計	35	7	5	4	7	12		
選択科目	情報処理Ⅰ#	1	1					
	情報処理Ⅱ#	1		1				
	設計製図Ⅰ	1		1				
	プログラミング学Ⅰ#	1		1				
	プログラミング学Ⅱ#	1		1				
	電気回路Ⅱ#	1			1			
	電気磁気学Ⅱ#	1			1			
	電子回路Ⅰ#	1			1			
	プログラミング学Ⅲ#	1			1			
	応用数学Ⅰ#	1			1			
	設計製図Ⅱ	1			1			
	電気回路Ⅲ#	1			1			
	電気磁気学Ⅲ#	1			1			
	電子回路Ⅱ#	1			1			
	エネルギー力学	1			1			
	ロボット力学#	1			1			
	信号処理工学Ⅰ	1			1			
	電気回路Ⅳ#	2				2		
	電気磁気学Ⅳ#	2				2		
	電気機械Ⅰ#	1				1		
	制御工学Ⅰ#	2				2		
	信号処理工学Ⅱ	1				1		
	計測工学Ⅰ#	1				1		
	技術者倫理#	1				1		
	ロボティクス設計	1				1		
	情報システム設計	1				1		
	電気工学特講	2				2		
	電子工学#	2				2		
	制御工学Ⅱ	2				2		
	電気機械Ⅱ#	1				1		
	応用物理	1				1		
	応用数学Ⅱ	1				1		
	応用数学Ⅲ	1				1		
	AI・機械学習論	1				1		
	インターシップ	2				2		
	システム工学	2					2	
	電力システム論Ⅰ#	1					1	
	ロボット工学Ⅰ	2					2	
	情報システム工学	2					2	
	計測工学Ⅱ#	1					1	
	電気材料#	2					2	
	電力システム論Ⅱ#	1					1	
ロボット工学Ⅱ	2					2		
情報通信工学	2					2		
電気法規・施設管理	1					1		
AI・ロボット科目群※	4					4		
修得すべき単位数	82単位以上							

※ AI・ロボット科目群については、学類内の他学科の科目を4単位まで取得可能とする。

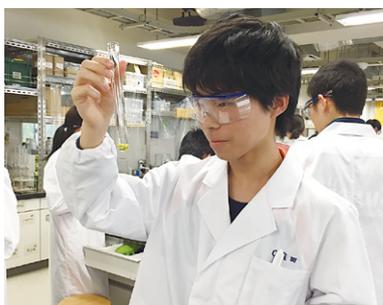
選択できる科目については別に定める。

は必修科目とする。

化学のおもしろさと出会いながら 実験を通して確かな技術と知識を

物質の組成・構造・変化について理解し、化学的・生物化学的に物質を製造する技術者を養成することを目的としています。主に講義と実験の2本立てで授業を行うことで、確かな知識と基礎的技術が学べます。

さらにナノマテリアル・生命科学・環境技術等の最先端の知識と技術を習得することにより、化学・医薬品工学分野で活躍できる技術者としての未来が開けます。



物質化学工学科 教育目標

化学を基礎として、機能性物質・材料、環境科学、生物化学などの幅広い分野および最先端技術に関する知識・技術を備え、生涯にわたり最前線で活躍する技術者を育成します。

多様な考え方を理解する幅広い教養を有し、専門知識から新たな物質・材料や新技術を創り出すための判断力と実行力、技術者倫理を備えた創造的な技術者を育成します。

化学品・医薬品工業をはじめとする地域の重要産業の発展、さらには環日本海地域および世界の持続的な発展に貢献できる技術者を育成します。

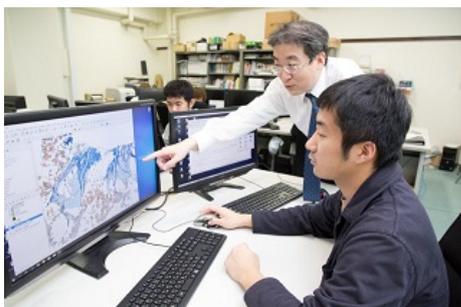
Curriculum

科目区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	データサイエンスⅠ	1	1					
	データサイエンスⅡ	1	1					
	物質化学基礎実験	3	3					
	情報・技術者倫理入門	1	1					
	分析化学実験	3		3				
	有機化学実験	2			2			
	無機化学実験	2			2			
	特別実験	1			1			
	物理化学実験	2				2		
	化学工学実験	2				2		
	生物化学実験	2				2		
	基礎研究	1				1		
	AI・MOTⅠ	1				1		
	AI・MOTⅡ	1				1		
機器分析実験	2					2		
卒業研究	12					12		
計	37	6	3	5	9	14		
選択科目	有機化学Ⅰ#	1		1				
	有機化学Ⅱ#	1		1				
	無機化学Ⅰ#	2		2				
	分析化学Ⅰ#	1		1				
	生物学#	1		1				
	情報処理Ⅰ#	1		1				
	有機化学Ⅲ#	1			1			
	分析化学Ⅱ#	1			1			
	基礎化学工学#	2			2			
	基礎生物化学#	2			2			
	無機化学Ⅱ#	1			1			
	無機化学Ⅲ#	1			1			
	物理化学Ⅰ#	2			2			
	情報処理Ⅱ#	1			1			
	応用数学Ⅰ	1				1		
	応用数学Ⅱ	1				1		
	応用物理Ⅰ	1				1		
	応用物理Ⅱ#	1				1		
	有機化学Ⅳ	2				2		
	有機化学Ⅴ	1				1		
	無機化学Ⅳ	2				2		
	化学工学Ⅰ#	1				1		
	化学工学Ⅱ#	1				1		
	生物化学Ⅰ#	1				1		
	生物化学Ⅱ#	1				1		
	物理化学Ⅱ#	1				1		
	物理化学Ⅲ	1				1		
	材料工学	2				2		
	機器分析Ⅰ	1				1		
	高分子化学Ⅰ#	1				1		
	分子生物学	1				1		
	インターンシップ	2				2		
	反応化学工学	2					2	
	応用物理Ⅲ	2					2	
工業化学	2					2		
高分子化学Ⅱ	2					2		
遺伝子工学	1					1		
応用微生物学	1					1		
機器分析Ⅱ	2					2		
環境科学	2					2		
生物有機化学	1					1		
修得すべき単位数	82単位以上							

は必修科目とする。

近未来ネットワーク社会を支える 電子情報技術のスペシャリストに

実習や演習を多く取り入れた実験重視型教育で
ソフトウェア、電子工学、通信ネットワークについて体系的に学び、
「自ら考えてものをつくる」ための
総合的な専門知識技能を身につけます。
デジタル技術の明日を担う技術者を育成します。



電子情報工学科 教育目標

アプリケーションからAIまでの総合的なプログラムが設計開発できる技術者を育成します。

センサからインターフェイスを含む電子回路設計ができる技術者を育成します。

ネットワークを活用してシステム設計ができる技術者を育成します。

Curriculum

科目区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	電子情報工学実験ⅠA	2	2					
	電子情報工学実験ⅠB	2	2					
	データサイエンスⅠ	1	1					
	データサイエンスⅡ	1	1					
	電子情報基礎	1	1					
	基礎電気Ⅰ	1		1				
	基礎電気Ⅱ	1		1				
	プログラミングⅠ	1		1				
	プログラミングⅡ	1		1				
	電子情報工学実験ⅡA	2		2				
	電子情報工学実験ⅡB	2		2				
	電子情報数学Ⅲ	1			1			
	電子情報工学実験ⅢA	2			2			
	電子情報工学実験ⅢB	2			2			
	電子情報工学実験Ⅳ	2				2		
	基礎研究	1				1		
	AI・MO TI	1				1		
	AI・MO TII	1				1		
卒業研究	12					12		
計	37	7	8	5	5	12		
選択科目	コンピュータシステムⅠ#	1		1				
	コンピュータシステムⅡ#	1		1				
	電子情報数学Ⅰ	1		1				
	電気回路Ⅰ#	1			1			
	電気回路Ⅱ#	1			1			
	電子回路Ⅰ#	1			1			
	電子回路Ⅱ#	1			1			
	プログラミングⅢ	1			1			
	コンピュータシステムⅢ	1			1			
	アルゴリズムとデータ構造Ⅰ#	1			1			
	アルゴリズムとデータ構造Ⅱ	1			1			
	電子情報数学Ⅱ	1			1			
	応用物理Ⅰ#	1			1			
	応用物理Ⅱ#	1			1			
	電気回路Ⅲ#	1				1		
	制御工学	1				1		
	電気磁気学Ⅰ#	1				1		
	電気磁気学Ⅱ#	1				1		
	電子回路Ⅲ#	1				1		
	センサ工学#	1				1		
	応用数学Ⅰ	1				1		
	応用数学Ⅱ	1				1		
	通信システム#	2				2		
	オペレーティングシステム#	2				2		
	数値計算	1				1		
	情報理論#	1				1		
	創造工学設計Ⅰ#	2				2		
	創造工学設計Ⅱ#	2				2		
	応用物理Ⅲ#	2				2		
	インターシップ	2				2		
	電子システム	1					1	
	コンピュータ計測	1					1	
	電気電子回路	2					2	
電波工学	1					1		
デジタル信号処理	1					1		
情報ネットワーク#	2					2		
メディア工学Ⅰ	1					1		
メディア工学Ⅱ	1					1		
ソフトウェア工学#	2					2		
計算工学#	2					2		
離散数学	2					2		
応用数学Ⅲ	2					2		
応用数学Ⅳ	2					2		
技術英語	1					1		
AI・ロボット科目群※	4					4		
修得すべき単位数	82単位以上							

※ AI・ロボット科目群については、学類内の他学科の科目を4単位まで取得可能とする。
 選択できる科目については別に定める。

は必修科目とする。

国際ビジネス学科

富山から環日本海へ、そして世界へ 外国語とビジネスの知識を駆使するグローバルな 人間を育てる

国際的なコミュニケーションの基礎となる英語と環日本海諸国語の2つの“使える外国語能力”、及び、異文化理解力を身につけ、ビジネスに関する専門的な知識を学びます。

さまざまな情報を統合して活用する手法やプレゼンテーション技術などを養い、環日本海交流の拠点をめざす富山県を中心として、国際的に活躍し、地域社会や地域産業にも貢献できるビジネスパーソンを育成します。



国際ビジネス学科 教育目標

ビジネスに関する専門的な知識を身に付け、活用できる人材を育成します。

英語と、もう一つの外国語（中国語・韓国語・ロシア語）が使える語学力を身に付けたビジネスパーソンを育成します。

Curriculum

科目区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	デザイン工学 I	1	1					
	デザイン工学 II	1	1					
	商学概論 I	1	1					
	商学概論 II	1	1					
	会計学概論 I	1		1				
	会計学概論 II	1		1				
	経営管理論 I	1			1			
	経営管理論 II	1			1			
	ビジネスゼミナール I	1				1		
	ビジネスゼミナール II	1				1		
AI・MOT I	1				1			
AI・MOT II	1				1			
卒業研究	12						12	
	計 24	4	2	2	4	12		
選科	情報基礎 I	1	1					
	情報基礎 II	1	1					
	経済学概論 I #	1		1				
	経済学概論 II #	1		1				
	物流概論 I #	1		1				
	物流概論 II #	1		1				
	情報基礎 III	1		1				
	情報基礎 IV	1		1				
	原価管理 I #	1			1			
	原価管理 II #	1			1			
	管理会計 I #	1			1			
	管理会計 II #	1			1			
	法学概論 I #	1			1			
	法学概論 II #	1			1			
	環日本海社会経済史 I	1			1			
	環日本海社会経済史 II	1			1			
	英語演習 I	1			1			
	英語演習 II	1			1			
	環日本海諸国語演習 I (中国語)	1			1			
	環日本海諸国語演習 I (韓国語)	1			1			
	環日本海諸国語演習 I (ロシア語)	1			1			
	環日本海諸国語演習 II (中国語)	1			1			
	環日本海諸国語演習 II (韓国語)	1			1			
	環日本海諸国語演習 II (ロシア語)	1			1			
	経営組織論 I #	1				1		
	経営組織論 II #	1				1		
	民法 I #	1				1		
	民法 II #	1				1		
	経営情報報 I #	1				1		
	経営情報報 II #	1				1		
マーケティング論 #	2				2			
物流管理論 #	2				2			
環日本海社会経済史 III	1				1			
環日本海社会経済史 IV	1				1			
ビジネス英語 I	2				2			
時事英語講読	2				2			
環日本海諸国語演習 III (中国語)	2				2			
環日本海諸国語演習 III (韓国語)	2				2			
環日本海諸国語演習 III (ロシア語)	2				2			
環日本海諸国語表現 I (中国語)	2				2			
環日本海諸国語表現 I (韓国語)	2				2			
環日本海諸国語表現 I (ロシア語)	2				2			
環日本海諸国語表現 II (中国語)	2				2			
環日本海諸国語表現 II (韓国語)	2				2			
環日本海諸国語表現 II (ロシア語)	2				2			
環日本海諸国語表現 III (中国語)	2				2			
環日本海諸国語表現 III (韓国語)	2				2			
環日本海諸国語表現 III (ロシア語)	2				2			
経営戦略論 I #	1					1		
経営戦略論 II #	1					1		
マーケティング戦略論 #	2					2		
国際ビジネス論 #	2					2		
データベース論 #	2					2		
雇用関係法 I #	1					1		
雇用関係法 II	1					1		
国際関係概論	2					2		
国際物流論	2					2		
金融論	2					2		
異文化コミュニケーション論	2					2		
ビジネス英語演習 I	1					1		
ビジネス英語演習 II	1					1		
ビジネス環日本海諸国語 (中国語)	2					2		
ビジネス環日本海諸国語 (韓国語)	2					2		
ビジネス環日本海諸国語 (ロシア語)	2					2		
英語圏異文化実習	3			3				
環日本海諸国異文化実習	3				3			
インターシップ	2					2		
修得すべき単位数	82単位以上							

は必修科目とする。

サービスエリアは地球 世界の海で活躍するグローバルスペシャリスト

「航海コース」と「機関コース」との2つからなる複合学科です。

3年生から選択したコースに分かれます。

海と船で使われる様々なテクノロジーを学び、

世界中で活躍するナビゲータやエンジニアをめざします。

最新のシミュレータやハイテク練習船で実習しながら、実物を使って理論と技術を学び、
即戦力を身につけます。

大きな船で航海に出る延べ1年間の乗船実習があるので、修業年限は5年6ヶ月となり、
卒業は6年生の9月になります。



商船学科 ■ 教育目標

船舶の運航や船用プラント運用に必要なシーマンシップを身に付けたグローバルな海技士を育成します。

海洋をフィールドとしてシステムの開発・構築・管理ができる技術者を育成します。

海洋環境を地球規模の視点で考えられるスペシャリストを育成します。

Curriculum

科目区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
航海・機関 共通科目	データサイエンスⅠ	1	1					
	データサイエンスⅡ	1	1					
	機関概論A	1	1					
	機関概論B	1	1					
	海洋基礎実習	1	1					
	航海概論A	1	1					
	校内練習船実習A	1	1					
	航海概論B	1		1				
	電気・電子工学A	1		1				
	電気・電子工学B	1		1				
	船舶基礎力学A	1		1				
	船舶基礎力学B	1		1				
	キャリアデザイン	1		1				
	校内練習船実習B	1		1				
	船舶安全学A	1			1			
	船舶安全学B	1			1			
	電気・電子工学C	1			1			
	電気・電子工学D	1			1			
	実験実習A	4			4			
	校内練習船実習C	1			1			
	AI・MOITⅠ	1				1		
	船舶海洋工学	2				2		
	海事法A	1				1		
	海事応用数学	2				2		
	実験実習B	2				2		
	計測制御工学	2					2	
	流体力学	2					2	
	海事法B	1					1	
	実験実習C	2					2	
	卒業研究	7					7	
校内練習船実習D	1					1		
計	46		7	7	9	8	15	
選択科目	インターシッフ	2				2		
	国際海事実習	3			3			
航海コース	運用概論A	1			1			
	運用概論B	1			1			
	航海測位論A	1			1			
	航海測位論B	1			1			
	船体管理論A	1			1			
	船体管理論B	1			1			
	航海学ゼミナールA	1			1			
	航法機器A	1			1			
	航海英語A	1			1			
	航海測位論C	2				2		
	海上交通法	2				2		
	航海英語B	1				1		
	航海情報システム演習	1				1		
	航海学ゼミナールB	1				1		
	航法機器B	2					2	
	船体運動学	2					2	
	海洋気象学	2					2	
	海上運送論	2					2	
海洋科学	1					1		
計	25			9	7	9		
選択科目	海事政策論	1				1		
機関コース	機械加工実習	2			2			
	内燃機関工学A	1			1			
	内燃機関工学B	1			1			
	工業熱力学A	1			1			
	工業熱力学B	1			1			
	材料力学A	1			1			
	材料力学B	1			1			
	機関英語A	1			1			
	内燃機関学	2				2		
	蒸気工学	1				1		
	電機システム	2				2		
	設計製図A	1				1		
	機関学ゼミナール	1				1		
	蒸気・ガスタービン	2					2	
	船用補助機械工学	2					2	
材料学	2					2		
設計製図B	2					2		
機関英語B	1					1		
計	25			9	7	9		
選択科目	商船運航実務	1				1		
修得すべき単位数		62単位以上						

■一般教養科

一般教養科には、各分野の一般科目を担当する専任教員を配置し、社会人として必要な教養と専門分野の知識・技術を修得するために必要な基礎学力を育成します。

Curriculum

機械システム工学科・電気制御システム工学科

科目区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考		
			1年	2年	3年	4年	5年			
必修科目	自然	基礎数学 A I	2	2						
		基礎数学 A II	2	2						
		基礎数学 B I	1	1						
		基礎数学 B II	1	1						
		物理学 I A	1	1						
		物理学 I B	1	1						
	計	8	8							
人文・社会	総合国語 I A #	2	2							
	総合国語 I B #	1	1							
	総合国語 II A #	1		1						
	総合国語 II B #	1		1						
	総合国語 III A #	1			1					
	総合国語 III B #	1			1					
	国語表現	1				1				
	日本語と文化	2					2			
	地理	2	2							
	歴史 I #	2		2						
	歴史 II #	2			2					
	公共社会論 #	1				1				
	比較社会文化論	1				1				
	思想文化論	1				1				
現代産業論	1				1					
選択科目	自然	基礎数学 C #	1	1						
		微分積分学 I #	2		2					
		微分積分学 II #	2		2					
		線形代数 I #	1		1					
		線形代数 II #	1		1					
		解析学 I #	2			2				
		解析学 II #	2			2				
		総合数学 #	1			1				
		確率と統計 #	1			1				
		物理学 II A #	1		1					
		物理学 II B #	1		1					
		物理学 III #	1			1				
		化学 I A #	1	1						
		化学 I B #	1	1						
保健・体育	保健・体育	化学 II A #	1		1					
		化学 II B #	1		1					
		保健 #	1	1						
		体育 I #	2	2						
		体育 II #	2		2					
		体育 III #	2			2				
		体育 IV	1				1			
		体育 V	1					1		
		芸術	芸術	音楽	1	1				
				美術	1	1				
書道	1			1						
総合英語 I #	3			3						
外国語	外国語	総合英語 II #	3		3					
		総合英語 III #	2			2				
		総合英語 IV #	2				2			
		総合英語 V #	2				2			
		総合英語 VI	2					2		
		英語表現 I #	2	2						
		英語表現 II #	2		2					
		英語表現 III #	2			2				
		英会話 I #	1	1						
		英会話 II #	1		1					
		英語演習 I	2				2			
		英語演習 II	2				2			
		その他	英語圏異文化実習	3				3		
			修得すべき単位数	75単位以上						

は必修科目とする。

Curriculum

物質化学工学科

科目区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考	
			1年	2年	3年	4年	5年		
必修科目	自然	基礎数学 A I	2	2					
		基礎数学 A II	2	2					
		基礎数学 B I	1	1					
		基礎数学 B II	1	1					
		化学 I A	2	2					
		化学 I B	1	1					
	計	9	9						
人文・社会	総合国語 I A #	2	2						
	総合国語 I B #	1	1						
	総合国語 II A #	1		1					
	総合国語 II B #	1		1					
	総合国語 III A #	1			1				
	総合国語 III B #	1			1				
	国語表現	1				1			
	日本語と文化	2					2		
	地理	2	2						
	歴史 I #	2		2					
	歴史 II #	2			2				
	公共社会論 #	1				1			
	比較社会文化論	1				1			
	思想文化論	1				1			
現代産業論	1				1				
選択科目	自然	基礎数学 C #	1	1					
		微分積分学 I #	2		2				
		微分積分学 II #	2		2				
		線形代数 I #	1		1				
		線形代数 II #	1		1				
		解析学 I #	2			2			
		解析学 II #	2			2			
		総合数学 #	1			1			
		確率と統計 #	1			1			
		物理学 I A #	1	1					
		物理学 I B #	1	1					
		物理学 II A #	1		1				
		物理学 II B #	1		1				
		物理学 III #	1			1			
保健・体育	保健・体育	化学 II A #	1		1				
		化学 II B #	1		1				
		保健 #	1	1					
		体育 I #	2	2					
		体育 II #	2		2				
		体育 III #	2			2			
		体育 IV	1				1		
		体育 V	1					1	
		芸術	芸術	音楽	1	1			
				美術	1	1			
書道	1			1					
総合英語 I #	3			3					
外国語	外国語	総合英語 II #	3		3				
		総合英語 III #	2			2			
		総合英語 IV #	2				2		
		総合英語 V #	2				2		
		総合英語 VI	2					2	
		英語表現 I #	2	2					
		英語表現 II #	2		2				
		英語表現 III #	2			2			
		英会話 I #	1	1					
		英会話 II #	1		1				
		英語演習 I	2				2		
		英語演習 II	2				2		
		その他	英語圏異文化実習	3				3	
			修得すべき単位数	75単位以上					

Curriculum

電子情報工学科

科目区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	基礎数学 A I	2	2					
	基礎数学 A II	2	2					
	基礎数学 B I	1	1					
	基礎数学 B II	1	1					
	物理学 I A	1	1					
	物理学 I B	1	1					
	計	8	8					
人文・社会	総合国語 I A1 #	1	1					
	総合国語 I A2 #	1	1					
	総合国語 I B #	1	1					
	総合国語 II A #	1		1				
	総合国語 II B #	1		1				
	総合国語 III A #	1			1			
	総合国語 III B #	1			1			
	国語表現	1				1		
	日本語と文化	2					2	
	地理 #	2	2					
	歴史 I #	2		2				
	歴史 II #	2			2			
	公共社会論 #	1				1		
	比較社会文化論	1				1		
思想文化論	1				1			
現代産業論	1				1			
選	基礎数学 C #	1	1					
	微分積分学 I #	2		2				
	微分積分学 II #	2		2				
	線形代数 I #	1		1				
	線形代数 II #	1		1				
	解析学 I #	2			2			
	解析学 II #	2			2			
	総合数学 #	1			1			
	確率と統計 #	1			1			
	数学特講 I	1				1		
	数学特講 II	1				1		
	物理学 II A #	1		1				
	物理学 II B #	1		1				
	物理学 III #	1			1			
科	化学 I A #	1	1					
	化学 I B #	1	1					
	化学 II A #	1		1				
	化学 II B #	1		1				
	基礎科学実験 #	1		1				
	保健 #	1	1					
	体育 I #	2	2					
	体育 II #	2		2				
	体育 III #	2			2			
	体育 IV	1				1		
	体育 V	1					1	
	音楽	1	1					
	美術	1	1					
	書道	1	1					
外国語	総合英語 I #	3	3					
	総合英語 II #	3		3				
	総合英語 III #	2			2			
	総合英語 IV #	2				2		
	総合英語 V #	2				2		
	総合英語 VI	2					2	
	英語表現 I #	2	2					
	英語表現 II #	2		2				
	英語表現 III #	2			2			
	英会話 I #	1	1					
	英会話 II #	1		1				
	英語演習 I	2				2		
	英語演習 II	2				2		
	環日本海諸国語 I (中国語)	1				1		
環日本海諸国語 I (ロシア語)	1				1			
環日本海諸国語 II (中国語)	1				1			
環日本海諸国語 II (ロシア語)	1				1			
英語圏異文化実習	3					3		
修得すべき単位数		75単位以上						

は必修科目とする。

Curriculum

商船学科

科目区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考	
			1年	2年	3年	4年	5年		
必修科目	基礎数学 A I	2	2						
	基礎数学 A II	2	2						
	基礎数学 B I	1	1						
	基礎数学 B II	1	1						
	物理学 I A	1	1						
	物理学 I B	1	1						
外国語	総合英語 IV	2				2			
	計	10	8				2		
人文・社会	総合国語 I A1 #	1	1						
	総合国語 I A2 #	1	1						
	総合国語 I B #	1	1						
	総合国語 II A #	1		1					
	総合国語 II B #	1		1					
	総合国語 III A #	1			1				
	総合国語 III B #	1			1				
	国語表現	1				1			
	日本語と文化	2					2		
	地理 #	2	2						
	歴史 I #	2		2					
	歴史 II #	2			2				
	公共社会論 #	1				1			
	比較社会文化論	1				1			
思想文化論	1				1				
現代産業論	1				1				
選	微分積分学 I #	2		2					
	微分積分学 II #	2		2					
	線形代数 I #	1		1					
	線形代数 II #	1		1					
	解析学 I #	2			2				
	解析学 II #	2			2				
	総合数学 #	1			1				
	確率と統計 #	1			1				
	物理学 II A #	1		1					
	物理学 II B #	1		1					
	物理学 III #	1			1				
	化学 I A #	1	1						
	化学 I B #	1	1						
	化学 II A #	1		1					
化学 II B #	1		1						
基礎科学実験 #	1		1						
科	保健 #	1	1						
	体育 I #	2	2						
	体育 II #	2		2					
	体育 III #	2			2				
	体育 IV	1				1			
	体育 V	1					1		
	音楽	1	1						
	美術	1	1						
	書道	1	1						
	外国語	総合英語 I #	3	3					
		総合英語 II #	3		3				
		総合英語 III #	2			2			
		総合英語 V	2					2	
		総合英語 VI	2					2	
英語表現 I #		2	2						
英語表現 II #		2		2					
英語表現 III #		2			2				
英会話 I #		1	1						
英会話 II #		1		1					
英語演習 I		2					2		
英語演習 II		2					2		
環日本海諸国語 I (中国語)		1					1		
環日本海諸国語 I (ロシア語)		1					1		
環日本海諸国語 II (中国語)	1					1			
環日本海諸国語 II (ロシア語)	1					1			
英語圏異文化実習	3						3		
修得すべき単位数		75単位以上							

Curriculum 国際ビジネス学科

科目区分	授業科目					単位数	学年別配当					備考		
							1年	2年	3年	4年	5年			
必修科目	自然	総合外国語 I A1				1	1							
		総合外国語 I A2				1	1							
		総合外国語 I B				1	1							
		総合外国語 I C				1	1							
		総合英英語 II				2	2							
	計				8	6	2							
人文・社会	選	総合外国語 II A #				1		1						
		総合外国語 II B #				1		1						
		総合外国語 II C #				1			1					
		総合外国語 III A				1			1					
		日本語と文化				1				1				
		現代文				2					2			
		現代文				2	2							
		現代文				2		2						
		現代文				2			2					
		現代文				1				1				
		現代文				1				1				
		現代文				1				1				
		現代文				1				1				
		現代文				1				1				
		自然	選	数学 I A #				1	1					
数学 I B #						1	1							
数学 II A #						1		1						
数学 II B #						1		1						
数学 III A #						1			1					
数学 III B #						1			1					
理科 I A #						1	1							
理科 I B #						1	1							
理科 II A #						1		1						
理科 II B #						1		1						
保・体	選	保健体育 I #				1	1							
		保健体育 II #				2	2							
		保健体育 III #				2		2						
		保健体育 IV #				1			1					
		保健体育 V #				1				1				
芸術	選	音楽 I #				1	1							
		美術 I #				1	1							
		音楽 II #				1	1							
		美術 II #				1	1							
		音楽 III #				2		2						
		美術 III #				2		2						
		音楽 IV #				2	2							
		美術 IV #				2	2							
		音楽 V #				2		2						
		美術 V #				2		2						
外国語	選	総合英英表話 III #				2		2						
		総合英英表話 IV #				2			2					
		総合英英表話 V #				2			2					
		総合英英表話 VI #				2				2				
		総合英英表話 VII #				2	2				2			
		総合英英表話 VIII #				2		2						
		総合英英表話 IX #				2	2							
		総合英英表話 X #				2		2						
		総合英英表話 XI #				2		2						
		総合英英表話 XII #				2		2						
		総合英英表話 XIII #				2		2						
		総合英英表話 XIV #				2		2						
		総合英英表話 XV #				2		2						
		総合英英表話 XVI #				2		2						
		総合英英表話 XVII #				2		2						
		総合英英表話 XVIII #				2		2						
		総合英英表話 XIX #				2		2						
		総合英英表話 XX #				2		2						
		総合英英表話 XXI #				2		2						
		総合英英表話 XXII #				2		2						
		総合英英表話 XXIII #				2		2						
		総合英英表話 XXIV #				2		2						
		総合英英表話 XXV #				2		2						
		総合英英表話 XXVI #				2		2						
		総合英英表話 XXVII #				2		2						
		総合英英表話 XXVIII #				2		2						
		総合英英表話 XXIX #				2		2						
		総合英英表話 XXX #				2		2						
		その他	選	環境外国語 I A(中国語) #				1	1					
				環境外国語 I B(中国語) #				1	1					
環境外国語 I A(韓国語) #						1	1							
環境外国語 I B(韓国語) #						1	1							
環境外国語 I A(ロシア語) #						1	1							
環境外国語 I B(ロシア語) #						1	1							
環境外国語 II A(中国語) #						1	1							
環境外国語 II B(中国語) #						1	1							
環境外国語 II A(韓国語) #						1	1							
環境外国語 II B(韓国語) #						1	1							
環境外国語 III A(中国語) #				1		1								
環境外国語 III B(中国語) #				1		1								
環境外国語 III A(韓国語) #				1		1								
環境外国語 III B(韓国語) #				1		1								
環境外国語 III A(ロシア語) #				1		1								
環境外国語 III B(ロシア語) #				1		1								
環境外国語 IV A(中国語) #				1		1								
環境外国語 IV B(中国語) #				1		1								
環境外国語 IV A(韓国語) #				1		1								
環境外国語 IV B(韓国語) #				1		1								
環境外国語 IV A(ロシア語) #				1		1								
環境外国語 IV B(ロシア語) #				1		1								
環境外国語 V A(中国語) #				1			1							
環境外国語 V B(中国語) #				1			1							
環境外国語 V A(韓国語) #				1			1							
環境外国語 V B(韓国語) #				1			1							
環境外国語 V A(ロシア語) #				1			1							
環境外国語 V B(ロシア語) #				1			1							
基礎言語学 I #				1				1						
基礎言語学 II #				1				1						

は必履修科目とする。

4 専攻科紹介

専攻科は、工学系のエコデザイン工学専攻及び制御情報システム工学専攻、人文社会系の国際ビジネス学専攻、商船系の海事システム工学専攻から成り、幅広い豊かな教養と高度な専門的知識を有する人材を育成します。

■エコデザイン工学専攻

全ての技術は環境との共存に配慮しなければならないとの理念のもと、本専攻では、エンジニアに必要な工学全般の技術とともに、環境に配慮した技術、すなわちエコテクノロジーについて教育を行います。また、人・地球との共生の精神を理解し、グローバルエンジニアとしての素養を有する人材を育成します。本科教育で修得した基礎学力の上に高度化・複合化した教育を行うとともに、環境関連科目や工業倫理に関する共通科目を編成します。また、PBL教育、インターンシップ、特別研究を通じ、開発能力を有した創造的技術者を育成します。

Curriculum 専門科目

区分	授業科目	単位数	学年別配当				備考
			1年		2年		
			前期	後期	前期	後期	
共通科目	計測・制御	2	2				
	プログラミング工学	2		2			
	生物工学	2				2	
	力学基礎	2		2			
	工学倫理	2	2				
	技術と環境	2			2		
	環境工学	2				2	
	工業数学	2	2				
	MOT入門	2		2			
	インターンシップA	2or3		2or3			
	インターンシップB	2or3		2or3			
	エコデザイン工学特論	2				2	
	特別演習	2	2				
地域産業学	2		2				
共通科目開設単位計		28~30	8	12~14	2	6	
専門科目	エコデザイン工学特別研究Ⅰ	9	2	2	5		
	エコデザイン工学特別研究Ⅱ	5				5	
	材料工学特論	2		2			
	振動工学特論	2	2				
	シミュレーション工学特論	2	2				
	流体工学特論	2	2				
	材料機能システム論	2		2			
	精密加工学	2		2			
	熱工学特論	2		2			
	応用システム特論	2		2			
	生産加工学	2			2		
	数値解析	2			2		
	電気回路特論	2	2				
	ロボット工学特論	2	2				
	知的信号処理特論	2	2				
	エネルギー論	2	2				
	電磁波工学	2		2			
	パワーエレクトロニクス特論	2		2			
	エコ電力システム工学特論	2		2			
	電子物性論	2			2		
	薄膜工学	2				2	
	物理化学特論	2	2				
	無機材料特論	2	2				
	複合材料工学	2	2				
	機能性高分子材料	2		2			
	材料機能特論	2		2			
	エコマテリアル特論	2		2			
	精密有機合成化学	2			2		
	生体物質機能概論	2			2		
	食品化学工学	2				2	
機器分析論	2				2		
電磁波工学特論	2			2		※2	
専攻科目開設単位計		74	22	24	17	11	
専門科目開設科目単位計		102~104	30	36~38	19	17	
修得単位			専門科目として54単位以上修得				
計合位単設開目科門専・般一		118~120	34	40~42	23	21	
一般・専門科目 修得単位 合計			62単位以上修得				

※1 科目担当教員が認めた場合に限り、在籍学年と異なる学年に開講される授業科目を履修することができる

※2 制御情報システム工学専攻との合同開講科目

■ 制御情報システム工学専攻

ソフトウェア、電気電子、ネットワークの技術を身に付け、これらを有機的に結びつけたシステムを設計できるプロフェッショナルエンジニアを育成します。

Curriculum 専門科目

区分	授業科目	単位数	学年別配当				備考	
			1年		2年			
			前期	後期	前期	後期		
専門 共通 科目	技術者倫理・企業倫理	2				2		
	技術英語	2		2				
	応用数学特論	2	2					
	応用物理学特論	2	2					
	数学・物理学演習	2		2				
	国際関係論	2				2		
	経営戦略特論	2		2				
	情報処理学	2	2					
	生産開発システム	2				2		
	インターンシップA(国内)	2	2					
	インターンシップB(国外)	3	3					
	技術経営(MOT)論	2	2					
	港湾実務	2			2			
	港湾物流	2			2			
	地球科学概論	2				2		
	衝撃工学	2	2					
	地域産業学	2		2				
	専門共通科目開設単位数	35	15	8	4	8		
	専門 専攻 科目	制御情報システム工学特別研究Ⅰ	9	2	2	5		
		制御情報システム工学特別研究Ⅱ	5				5	
制御情報システム工学実験		4	2	2				
制御情報システム工学演習		4	2	2				
オブジェクト指向プログラミング		2		2				
計測制御システム工学		2		2				
量子エレクトロニクス		2	2					
通信工学特論		2	2					
電磁波工学特論		2			2			
生体情報工学		2			2			
計算工学特論		2		2				
ネットワークシステム工学		2			2			
知能情報処理工学		2		2				
電子物性論		2			2		※2	
専門専攻科目開設単位数		42	10	14	13	5		
専門科目開設単位数計	77	25	22	17	13			
一般・専門科目単位数計	93	29	24	21	19			
修得単位数合計		62単位以上						

■ 国際ビジネス学専攻

経営学に関する高度な専門的知識とビジネスに関する実践的な能力を併せ持ち、環日本海地域ビジネスに関わるコーディネーター、プロジェクトマネージャーを育成します。

Curriculum 専門科目

区分	授業科目	単位数	学年別配当				備考	
			1年		2年			
			前期	後期	前期	後期		
専門 共通 科目	技術者倫理・企業倫理	2				2		
	技術英語	2		2				
	応用数学特論	2	2					
	応用物理学特論	2	2					
	数学・物理学演習	2		2				
	国際関係論	2				2		
	経営戦略特論	2		2				
	情報処理学	2	2					
	技術経営(MOT)論	2	2					
	インターンシップA(国内)	2	2					
	インターンシップB(国外)	3	3					
	生産開発システム	2				2		
	港湾実務	2			2			
	港湾物流	2			2			
	地球科学概論	2				2		
	衝撃工学	2	2					
	地域産業学	2		2				
	専門共通科目開設単位数	35	15	8	4	8		
	専門 専攻 科目	国際ビジネス学特別研究Ⅰ	12	4	4	4		
		国際ビジネス学特別研究Ⅱ	4				4	
経営管理特論		2	2					
環日本海ビジネス事情		2	2					
環日本海ビジネス演習		2		2				
数理意思決定論		2			2			
製品開発論		2		2				
ビジネス会計論		2			2			
応用情報処理論		2			2			
商業英語		2		2				
経営システム分析論		2		2				
経営システム科学論		2				2		
地域経営特論		2	2					
ビジネス創造論		2	2					
企業論特論		2		2				
国際ビジネス外書講読	2		2					
企業と雇用	2		2					
地域イノベーション論	2				2			
専門専攻科目開設単位数	48	12	18	10	8			
専門科目開設単位数計	83	27	26	14	16			
一般・専門科目単位数計	99	31	28	18	22			
修得単位数合計		62単位以上						

※1 科目担当教員が認めた場合に限り、在籍学年と異なる学年に開講される授業科目を履修することができる

※2 エコデザイン工学専攻との合同開講科目

■ 海事システム工学専攻

陸上と船舶を繋ぐ視点及び陸上の視点から、深く体系的に学び、新たな物流・輸送システム、新たなプラント等の設計、開発などのシステム創生を担える人材を育成します。

Curriculum 専門科目

区分	授業科目	単位数	学年別配当				備考	
			1年		2年			
			学期D	学期A	学期B	学期C		
専門 共通科目	技術者倫理・企業倫理	2	2					
	技術英語	2		2				
	応用数学特論	2		2				
	応用物理学特論	2		2				
	数学・物理学演習	2			2			
	国際関係論	2			2			
	経営戦略特論	2			2			
	情報処理学	2		2				
	生産開発システム	2	2					
	インターンシップA(国内)	2		2				
	インターンシップB(国外)	3		3				
	港湾実務	2				2		
	港湾物流	2				2		
	地球科学概論	2	2					
	技術経営(MOT)論	2		2				
	衝撃工学	2		2				
	地域産業学	2	2					
	専門共通科目開設単位数	35	8	15	8	4		
	専門 専攻科目	海事システム工学特別研究Ⅰ	9	2	2	5		
		海事システム工学特別研究Ⅱ	5				5	
海事システム工学実験		4	2	2				
海事システム工学演習		4	2	2				
船用制御システム		2		2				
ナビゲーション・システム		2			2			
輸送機器デザイン		2			2			
海洋施設環境・情報工学		2			2			
熱機関工学特論		2	2					
タービン特論		2		2				
海事安全学特論		2		2				
流体工学特論		2		2				
海上労働法		2			2			
伝熱工学特論		2	2					
専門専攻科目開設単位数	42	10	14	13	5			
専門科目開設単位数計	77	18	29	21	9			
一般・専門科目単位数計	93	24	33	23	13			
修得単位数合計		62単位以上						

※ 科目担当教員が認めた場合に限り、在籍学年と異なる学年に開講される授業科目を履修することができる

■ 専攻別一般科目

区分	授業科目	単位数	学年別配当				備考
			1年		2年		
			前期	後期	前期	後期	
エコデザイン工学専攻	言語と文化	2				2	
	歴史と文化	2				2	
	思想と文化	2			2		
	環境社会学	2			2		
	英語Ⅰ	2	2				
	英語Ⅱ	2		2			
	英語コミュニケーションⅠ	2	2				
英語コミュニケーションⅡ	2		2				
一般科目開設単位数	小計	16	4	4	4	4	
修得単位数		一般科目として8単位以上修得					

区分	授業科目	単位数	学年別配当				備考
			1年		2年		
			前期	後期	前期	後期	
制御情報システム工学専攻	英語特論Ⅰ	2	2				
	英語特論Ⅱ	2		2			
	応用英語	2	2				
	日本語・日本文化	2				2	
	地域社会研究	2			2		
	健康科学	2				2	
	産業特論	2			2		
	環日本海文化論	2				2	
一般科目開設単位数		16	4	2	4	6	

区分	授業科目	単位数	学年別配当				備考
			1年		2年		
			前期	後期	前期	後期	
国際ビジネス専攻	英語特論Ⅰ	2	2				
	英語特論Ⅱ	2		2			
	応用英語	2	2				
	日本語・日本文化	2				2	
	地域社会研究	2			2		
	健康科学	2				2	
産業特論	2			2			
環日本海文化論	2				2		
一般科目開設単位数		16	4	2	4	6	

区分	授業科目	単位数	学年別配当				備考
			1年		2年		
			学期D	学期A	学期B	学期C	
海事システム工学専攻	英語特論Ⅰ	2		2			
	英語特論Ⅱ	2			2		
	応用英語	2		2			
	日本語・日本文化	2	2				
	地域社会研究	2				2	
	健康科学	2	2				
	産業特論	2				2	
環日本海文化論	2	2					
一般科目開設単位数		16	6	4	2	4	

5 教員名簿

■機械システム工学科

職名 Status	学位	氏名 Name	本年度担当科目
教授 Professor	博士(工学)	井上 誠 Inoue Makoto	鉄鋼材料 環境強度 I
教授 Professor	博士(工学)	岡根 正樹 Okane Masaki	材料力学 I, II, III 強度設計
教授 Professor	博士(工学)	佐瀬 直樹 Sase Naoki	機構学 製造と加工 II
教授 Professor	博士(工学)	白川 英観 Shirakawa Hidemi	熱力学 I 流体工学 I
教授 Professor	博士(工学)	高橋 勝彦 Takahashi Katsuhiko	製造と加工 I 材料プロセス
准教授 Associate Professor	博士(情報科学)	池田 英俊 Ikeda Hidetoshi	電気・電子回路 実用技術英語 I
准教授 Associate Professor	博士(工学)	石黒 農 Ishiguro Minoru	実用技術英語 II, 情報処理 II シミュレーション工学
准教授 Associate Professor	博士(工学)	喜多 正雄 Kita Masao	基礎材料工学 I, II 材料物性 I, II
准教授 Associate Professor	修士(工学)	増山 圭一 Masuyama Keiichi	機械製図 I, II 材料強度学
准教授 Associate Professor	博士(工学)	山本 久嗣 Yamamoto Hisashi	流体工学 II 応用物理 II
准教授 Associate Professor	博士(工学)	吉川 文恵 Yoshikawa Fumie	エネルギー機械 流体機械
講師 Lecturer	博士(工学)	田尻 智紀 Tajiri Tomoki	制御工学 I, II 応用数学 I

■電気制御システム工学科

職名 Status	学位	氏名 Name	本年度担当科目
教授 Professor	学士(工学)	浦風 和裕 Urakaze Kazuhiro	設計製図 II, III メカトロ創造設計 B I, B II
教授 Professor	博士(工学)	佐藤 圭祐 Sato Keisuke	メカトロ創造設計 A I, A II 電気機械 I, II
教授 Professor	博士(工学)	柴田 博司 Shibata Hiroshi	シミュレーション工学 材料力学 I, II
教授 Professor	博士(工学)	高田 英治 Takada Eiji	計測工学 I, II システム工学
教授 Professor	博士(工学)	西 敏行 Nishi Toshiyuki	電気磁気学 I, II, III システム工学実験 II
教授 Professor	博士(工学)	百生 登 Momose Noboru	ものづくり工学 メカトロ基礎工学
准教授 Associate Professor	博士(工学)	井澤 正樹 Izawa Masaki	機械工作法 工業力学
准教授 Associate Professor	博士(情報科学)	石田 文彦 Ishida Fumihiko	情報処理 計算機システム I
准教授 Associate Professor	博士(工学)	金子 慎一郎 Kaneko Shin-ichiro	ロボット工学 I 設計製図 I

准教授 Associate Professor	博士(工学)	多田和広 Tada Kazuhiro	電子回路Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ 電子物性論, 電子工学Ⅰ
准教授 Associate Professor	博士(理学)	藤崎明広 Fujisaki Akihiro	応用数学Ⅰ, Ⅱ 応用物理Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ
准教授 Associate Professor	修士(工学)	古川裕人 Furukawa Hiroto	電気回路Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ 通信工学
講師 Lecturer	博士(工学)	北村拓也 Kitamura Takuya	応用数学Ⅲ 制御工学Ⅱ
講師 Lecturer	博士(工学)	西島健一 Nishijima Ken-ichi	パワーエレクトロニクス 工業英語Ⅰ
嘱託教授 Professor	博士(工学)	櫻井豊 Sakurai Yutaka	制御工学Ⅰ, 工業英語Ⅱ 電気材料, 電子工学Ⅱ, 薄膜工学
特命准教授 Associate Professor	博士(工学)	吉田晃基 Yoshida Koki	データサイエンスⅠ 電気電子基礎工学実験

■物質化学工学科

職名 Status	学位	氏名 Name	本年度担当科目
教授 Professor	博士(工学)	河合孝恵 Kawai Takae	物理化学Ⅰ, Ⅲ 情報処理Ⅱ
教授 Professor	博士(工学)	川淵浩之 Kawafuchi Hiroyuki	有機化学Ⅲ, Ⅳ, Ⅴ 有機化学実験
教授 Professor	博士(薬学)	後藤道理 Goto Michimasa	生物化学Ⅰ, Ⅱ 薬理学
教授 Professor	工学博士	高廣政彦 Takahiro Masahiko	応用物理Ⅱ, Ⅲ, Ⅳ 複合材料工学, 先端化学Ⅱ
教授 Professor	博士(工学)	袋布昌幹 Tafu Masamoto	材料工学Ⅰ エコマテリアル
教授 Professor	博士(理学)	津森展子 Tsumori Nobuko	化学ⅠA, ⅠB, ⅡA, ⅡB 無機化学Ⅱ, Ⅲ
准教授 Associate Professor	博士(農学)	篠崎由紀子 Shinozaki Yukiko	分子生物学 生物工学, 安全工学
准教授 Associate Professor	博士(工学)	高松さおり Takamatsu Saori	分析化学実験 環境工学, 情報・技術者倫理入門
准教授 Associate Professor	博士(工学)	中島栄次 Nakajima Eiji	基礎化学工学 化学工学Ⅰ
准教授 Associate Professor	博士(マテリアルサイエンス)	福田知博 Fukuda Tomohiro	有機化学Ⅰ 情報処理Ⅰ
准教授 Associate Professor	博士(工学)	間中淳 Manaka Atsushi	分析化学実験 無機化学Ⅳ
准教授 Associate Professor	博士(農学)	峰本康正 Minemoto Yasumasa	化学工学Ⅱ, Ⅲ 応用数学Ⅰ, Ⅱ
准教授 Associate Professor	博士(工学)	森康貴 Mori Yasutaka	高分子化学Ⅰ, Ⅱ 材料工学Ⅱ
講師 Lecturer	博士(工学)	迫野奈緒美 Sakono Naomi	無機材料特論, 品質管理 物理化学Ⅱ
講師 Lecturer	博士(理学)	山岸正和 Yamagishi Masakazu	機器分析Ⅰ, Ⅱ 有機化学実験

電子情報工学科

職名 Status	学位	氏名 Name	本年度担当科目
教授 Professor	博士(理学)	阿蘇 司 Aso Tsukasa	情報ネットワークⅠ, Ⅱ ネットワークシステム工学
教授 Professor	博士(工学)	小熊 博 Oguma Hiroshi	制御工学Ⅰ, Ⅱ 通信工学特論
教授 Professor	博士(工学)	椎名 徹 Shiina Toru	メディア工学Ⅰ, Ⅱ 電気磁気学Ⅰ, Ⅱ
教授 Professor	博士(工学)	塚田 章 Tsukada Akira	電気回路Ⅰ, Ⅱ 生体情報工学
教授 Professor	博士(情報科学)	古山 彰一 Furuyama Shoichi	創造工学設計Ⅰ 数値計算
教授 Professor	博士(工学)	水本 巖 Mizumoto Iwao	電子通信工学Ⅰ, Ⅱ 応用電磁システム
准教授 Associate Professor	博士(工学)	秋口 俊輔 Akiguchi Syunsuke	オペレーティングシステムⅠ, Ⅱ 知能情報処理工学
准教授 Associate Professor	修士(工学)	早勢 欣和 Hayase Yoshikazu	情報数学Ⅱ ソフトウェア工学Ⅰ, Ⅱ
准教授 Associate Professor	博士(情報科学)	的場 隆一 Matoba Ryuichi	応用数学Ⅰ, Ⅱ 技術英語
准教授 Associate Professor	修士(工学)	山口 晃史 Yamaguchi Akifumi	基礎電気Ⅰ, Ⅱ 電子システムⅠ, Ⅱ
准教授 Associate Professor	博士(工学)	由井 四海 Yoshii Yotsumi	量子エレクトロニクス コンピュータ計測Ⅰ, Ⅱ
講師 Lecturer	博士(工学)	伊藤 尚 Ito Nao	応用物理Ⅲ, Ⅳ 電子回路Ⅲ, Ⅳ
助教 Assistant Professor	博士(工学)	滝沢 雅明 Takizawa Masaaki	AI/MOT データサイエンスⅡ
助手 Research Associate	修士(工学)	門村 英城 Kadomura Hideki	アルゴリズムとデータ構造Ⅰ, Ⅱ 電子情報工学実験Ⅰ
嘱託教授 Professor	博士(工学)	篠川 敏行 Shinokawa Toshiyuki	計算機構成論Ⅰ, Ⅱ 論理回路

国際ビジネス学科

職名 Status	学位	氏名 Name	本年度担当科目
教授 Professor	博士(Ph.D.)	西原 雅博 Nishihara Masahiro	時事英語講読 ビジネス英語演習Ⅰ, Ⅱ
教授 Professor	修士(経営情報学)	長谷川 博 Hasegawa Hiroshi	会計学概論Ⅰ, Ⅱ 財務会計論Ⅰ, Ⅱ
教授 Professor	修士(経済学)	松原 義弘 Matsubara Yoshihiro	民法Ⅰ, Ⅱ 雇用関係法Ⅰ, Ⅱ
教授 Professor	博士(学術)	宮重 徹也 Miyashige Tetsuya	経営戦略論Ⅰ, Ⅱ 経営管理論Ⅰ, Ⅱ
准教授 Associate Professor	修士(学術)	海老原 毅 Ebihara Tsuyoshi	環日本海諸国語表現Ⅰ, Ⅱ(中国語) ビジネス環日本海諸国語(中国語)
准教授 Associate Professor	修士(文学)	岡本 勝規 Okamoto Katsunori	環日本海社会経済史Ⅲ, Ⅳ 国際関係概論Ⅰ, Ⅱ
准教授 Associate Professor	博士(学術)	清 剛治 Kiyoshi Takeharu	経済学概論Ⅰ, Ⅱ 国際ビジネス論Ⅰ, Ⅱ
准教授 Associate Professor	博士(マネジメント)	塩見 浩介 Shiomi Kosuke	管理会計論Ⅰ, Ⅱ 原価企画論Ⅰ, Ⅱ

准教授 Associate Professor	博士(情報科学)	萩原 信吾 Hagiwara Shingo	経営情報Ⅰ,Ⅱ 情報基礎Ⅲ,Ⅳ
准教授 Associate Professor	博士(言語文化学)	宮崎 衣澄 Miyazaki Izumi	環日本海諸国語表現Ⅰ(ロシア語) ビジネス環日本海諸国語(ロシア語)
准教授 Associate Professor	博士(工学)	村山 雅子 Murayama Masako	物流管理論Ⅰ,Ⅱ 国際物流論Ⅰ,Ⅱ

商船学科

職名 Status	学位	氏名 Name	本年度担当科目
教授 Professor	修士(経済学) 一級海技士(航海)	笹谷 敬二 Sasaya Keiji	船舶安全学Ⅰ,Ⅱ 運用概論Ⅰ,Ⅱ
教授 Professor	博士(工学)	中谷 俊彦 Nakatani Toshihiko	航海概論A 航海計測論Ⅰ,Ⅱ
教授 Professor	博士(工学)	保前 友高 Homae Tomotaka	力学Ⅰ,Ⅱ 材料力学Ⅰ,Ⅱ
教授 Professor	准学士 一級海技士(機関)	松村 茂実 Matsumura Shigemi	蒸気原動機工学Ⅱ,Ⅲ 商船実務
教授 Professor	博士(工学)	山本 桂一郎 Yamamoto Keiichiro	パワーエレクトロニクスⅠ,Ⅱ 生産開発システム
准教授 Associate Professor	博士(工学) 三級海技士(機関)	経田 僚昭 Kyoden Tomoaki	工業熱力学Ⅰ,Ⅱ 工作実習
准教授 Associate Professor	博士(理学)	福留 研一 Fukudome Ken-ichi	海洋気象論Ⅰ,Ⅱ 海洋科学概論
准教授 Associate Professor	博士(理学)	向瀬 紀一郎 Mukose Kiichiro	船舶工学Ⅰ,Ⅱ 応用数学Ⅰ,Ⅱ
講師 Lecturer	修士(海事科学) 三級海技士(航海)	西井 典子 Nishii Noriko	海上交通論Ⅰ,Ⅱ 航海英語Ⅰ
講師 Lecturer	博士(工学)	山田 圭祐 Yamada Keisuke	機関概論A, B 内燃機関工学Ⅰ,Ⅱ
助教 Assistant Professor	学士(商船学) 一級海技士(機関)	小林 大 Kobayashi Dai	補助機械工学Ⅰ,Ⅱ 機関英語Ⅱ
助教 Assistant Professor	修士(海事科学) 一級海技士(航海)	布目 明弘 Nunome Akihiro	航海測位論Ⅱ,Ⅲ 航海英語Ⅱ
嘱託教授 Professor	博士(工学) 三級海技士(航海)	河合 雅司 Kawai Masashi	航海測位論Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ,Ⅳ 航海科学
嘱託教授 Professor	博士(工学) 三級海技士(機関)	水谷 淳之介 Mizutani Junnosuke	設計製図Ⅰ,Ⅱ 工業材料学Ⅰ,Ⅱ
嘱託助教 Assistant Professor	准学士 三級海技士(機関)	檜谷 亮一 Hinotani Ryoichi	設計製図Ⅰ 工作実習

練習船若潮丸

職名 Status	学位	氏名 Name	本年度担当科目
船長・准教授(特任教授) Captain	准学士 二級海技士(航海)	金山 恵美 Kanayama Emi	校内練習船実習 実験実習Ⅰ,Ⅱ
機関長・准教授(特任教授) Chief Engineer	博士(工学) 一級海技士(機関)	山谷 尚弘 Yamatani Naohiro	校内練習船実習 実験実習Ⅰ,Ⅱ
一等航海士・助教 Chief Officer	准学士 三級海技士(航海)	関口 直人 Sekiguchi Naoto	校内練習船実習 実験実習Ⅰ,Ⅱ
一等機関士・助教 First Engineer	准学士 三級海技士(機関)	池野 一成 Ikeno Kazunari	校内練習船実習 実験実習Ⅰ,Ⅱ

■一般教養科

[本郷キャンパス]

職名 Status	学位	氏名 Name	本年度担当科目
教授 Professor	修士 (TESOL)	青山 晶子 Aoyama Akiko	英語表現Ⅰ, 総合英語Ⅳ, Ⅴ 英語コミュニケーションⅠ, Ⅱ
教授 Professor	博士 (学術)	足立 繭子 Adachi Mayuko	総合国語ⅠA, ⅠB, ⅡA, ⅡB 国語表現, 日本語と文化
教授 Professor	学 士	高熊 哲也 Takakuma Tetsuya	総合国語ⅠA, ⅠB, Ⅲ 日本語と文化, 言語と文化
教授 Professor	修士 (体育学)	日比 端 洋 Hibi Naohiro	体育Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ, Ⅴ
教授 Professor	文学 修士	宮崎 真矢 Miyazaki Shinya	地理, 倫理, 哲学Ⅰ, Ⅱ 思想と文化
教授 Professor	修士 (農学)	森田 康文 Morita Yasufumi	化学ⅠA, ⅠB, ⅡA, ⅡB 生物学, 基礎生物化学
教授 Professor	博士 (理学)	山腰 等 Yamakoshi Hitoshi	物理学ⅡA, ⅡB, Ⅲ 基礎科学実験
准教授 Associate Professor	博士 (理学)	笠谷 昌弘 Kasatani Masahiro	基礎数学BⅠ, BⅡ, C 線形代数Ⅰ, Ⅱ, 総合数学
准教授 Associate Professor	修士 (学術)	紙谷 智 Kamiya Satoshi	英語演習Ⅱ, Ⅲ 総合英語Ⅰ, 英語Ⅰ
准教授 Associate Professor	修士 (工学)	河原 治 Kawahara Osamu	微分積分学Ⅰ, Ⅱ 基礎数学C, 総合数学
准教授 Associate Professor	修士 (文学)	高越 義一 Takagoshi Yoshikazu	総合英語Ⅱ 英語演習Ⅰ, Ⅱ, 英語Ⅱ
准教授 Associate Professor	博士 (工学)	豊嶋 剛司 Toshima Takeshi	物理学ⅠA, ⅠB, 応用数学Ⅳ 応用物理Ⅰ, Ⅰa, Ⅰb
講師 Lecturer	博士 (史学)	横山 恭子 Yokoyama Kyoko	歴史Ⅱ, 政治・経済 歴史学Ⅰ, Ⅱ, 歴史と文化
助教 Assistant Professor	博士 (理学)	加藤 正輝 Kato Masaki	基礎数学AⅠ, AⅡ, C 総合数学
助教 Assistant Professor	博士 (文学)	陳 璐 Chen Lu	英語表現Ⅱ 総合英語Ⅲ
助教 Assistant Professor	修士 (スポーツ科学)	中村 祐太郎 Nakamura Yutaro	体育Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ, Ⅳ 保健
嘱託教授 Professor	修士 (文学)	富田 尚 Tomita Takashi	英語表現Ⅲ

[射水キャンパス]

職名 Status	学位	氏名 Name	本年度担当科目
教授 Professor	理学修士	河合 均 Kawai Hitoshi	解析学Ⅰ, Ⅱ 基礎数学BⅠ, BⅡ
教授 Professor	博士(理学)	寺崎 由紀子 Terasaki Yukiko	化学ⅠA, ⅠB 理科ⅠA, ⅠB
教授 Professor	博士(工学)	星野 朱美 Hoshino Akemi	環日本海諸国語ⅠA, ⅡA(中国語) 環日本海諸国語ⅠB, ⅡB(中国語)
教授 Professor	修士(教育学)	モアナヌ チャールトン ビル Moananu Charlton Bill	英会話ⅠA, ⅠB 英会話ⅡA, ⅡB
教授 Professor	修士(経済学) 修士(教育学)	横田 数弘 Yokota Kazuhiro	政治, 経済 歴史Ⅱ
教授 Professor	修士(教育学)	楽山 進 Rakuyama Susumu	英語表現Ⅰ 総合英語Ⅱ
准教授 Associate Professor	博士(理学)	大竹 由記子 Ohtake Yukiko	物理学ⅠA, ⅠB 物理学ⅡA, ⅡB
准教授 Associate Professor	修士(体育学)	大橋 千里 Ohashi Chisato	体育Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ, Ⅳ, Ⅴ 健康科学
准教授 Associate Professor	修士(文学)	近藤 周吾 Kondo Shugo	総合国語ⅠB 言語学Ⅰ, Ⅱ
准教授 Associate Professor	博士(理学)	櫻井 秀人 Sakurai Hideto	基礎数学BⅠ, BⅡ 微分積分学Ⅰ, Ⅱ
准教授 Associate Professor	修士(英語教育) MA(ELT)	山村 啓人 Yamamura Hiroto	総合英語Ⅱ, Ⅲ 英語演習Ⅰ, Ⅱ
准教授 Associate Professor	修士(学術)	山本 有希 Yamamoto Yuki	環日本海諸国語ⅠA, ⅡA(ロシア語) 環日本海諸国語ⅠB, ⅡB(ロシア語)
講師 Lecturer	博士(人文科学)	久保 陽子 Kubo Yoko	総合国語ⅠA1 総合国語ⅡA, ⅡB
助教 Assistant Professor	修士(言語学)	マーク オルソン ストリー Mark Olson Storey	英会話ⅠA, ⅠB 英会話ⅡA, ⅡB
助教 Assistant Professor	修士(教育学)	林 直人 Hayashi Naoto	体育Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ, Ⅳ, Ⅴ

6 ソリューションセンター

ソリューションセンターは、教職員の研究成果や実践的な技術開発力を活用して、企業や地方自治体と連携しながら、地域の産学連携を加速し、地域産業における技術的課題の解決を図ること、さらに地域の技術力の継承・発展、それを担う学生をはじめとする人材育成に貢献することをとおして、地域の活性化に貢献することを目的として設置されているセンターです。

本校が位置する富山県は、日本海側最大規模の工業立県であり、本センターではこの地域環境を最大限に活かした、産学・地域連携の強化を進めています。具体的には地域産業等からの技術相談の対応、共同・受託研究の受入支援、さらには企業・地域との共同教育事業の企画実施を進め、共同研究等で得られた知的財産の管理・活用まで、地域との連携をワンストップで対応できる取り組みを進めています。事業推進のためにコーディネーターを校内に配置し、地域産業のニーズの発掘と本校のシーズとのマッチングに対する細やかな対応を行っています。

また、技術振興会会員企業等と協力し、地域産業との連携強化につながる取り組みを進めています。

これらの取り組みをとおして、本校の教育・研究および地域産業がともに発展していくことを目指しています。



研究会における講演の様子



企業訪問による意見交換

7 研究高度化推進センター

研究高度化推進センターでは、教員の研究力を高め、それを教育に還元することにより、本校の研究・教育の高度化を実現することを目指しています。

科研費をはじめとした外部資金の増加を目的として、教員を対象とした講習会等を実施し、研究活動の支援を行っています。

他の研究機関や大学との連携を深め、最先端の研究開発を行うことにも取り組んでいます。長岡技術科学大学、豊橋技術科学大学、他高専との間で実施している機器共用ネットワークに参画し、それぞれの機関が保有する共通機器を相互に利用することで、本校の枠組みを超えた研究・教育を実施しています。

また、国内外の連携機関から講師を招聘する特別講義・セミナー（研究推進フォーラム）を開催し、教員と専攻科生等学生が研究発表を行うことをとおして、他の研究機関や大学等と本校との連携を深め、最先端の研究開発に取り組む雰囲気醸成しております。

研究と教育を両輪と捉え、双方を高度化するための活動を今後も進めてまいります。



研究推進フォーラムでの講演



機器共用ネットワークの利用

8 国際教育センター

グローバル化によって、これまでに築いてきた社会システムも変化を余儀なくされています。日本企業は、内需減少や国際情勢の変化に対応するため、グローバル化を推し進めています。経済発展著しい新興国との間でビジネスを展開すること、未開拓の海外市場を開拓することが当たり前となっています。海外での事業所や製造拠点を設置し、運営することが必須となっています。グローバルな観点で地域社会をリードする人材が求められています。

このような状況の変化を受けて、全国の高等専門学校では、従来から取り組んできた創造的な技術者・ビジネスパーソンの育成に加え、国際性を培う教育に傾注してまいりました。この取り組みは、海外の異なる文化を持つ人々を理解し、双方向にコミュニケーションできる人材、協調しつつ自己の主張を明確に行うことのできる人材、持続可能な社会の発展に寄与できるグローバル人材を高専で育てていこうという試みです。もちろん、本校でも、次代のリーダーに相応しい、喫緊の課題に真正面から向き合うことのできる技術者やビジネスパーソンを育成していこうと、さまざまな活動を実施しています。

本校の国際教育センターは、このような活動を支援する拠点組織として整備され、意欲的な取り組みを行っています。世界的視野と国際社会に通用する国際性やコミュニケーション能力を持った学生を育成すること、教職員の国際性向上を図ることを目的に、教育や研究における一層の国際化を推進しています。語学教育の充実や、海外からの短期留学生の受入、日本人学生の語学研修や海外インターンシップへの支援を積極的に行っています。さらに、国際学術交流協定を締結した海外の大学や地域企業などと連携して、国際シンポジウムの開催、国際共同研究の実施も推進しています。当センターでは、地域に根ざしつつ、国際的な視野を持った専門性の高い人材の輩出に貢献したいと願っています。



タイ・シンガポール短期留学生のウェルカムパーティー開催

9 入試広報センター

入試広報センターは本校の広報全般、とりわけ本校志願者向けの入試広報活動を主目的として設置されているセンターです。

現在少子化が社会問題化しており、中学卒業人口も年々減少しています。そのような中、中学生、保護者、中学校教諭および社会に本校を広く正しく知っていただき、本校志願者数増加および本校のアドミッションポリシーに合致した入学生をより多く受け入れることを、本センターのミッションとしています。このようなミッションを達成すべく、中学生向け本校紹介パンフレット(カレッジガイド)の作成、夏季・秋季オープンキャンパスや進学個別相談会などの運営、各中学校で開催される高校説明会への参加、学習塾が主催する進学説明イベントへの参加などを行っています。また、本校学生および保護者向けの活動として、冊子(高専通信)の作成を行っています。また、本校の活動を広く県内外に知っていただくため、本校ホームページの管理運営などを行っています。



中学生とその保護者を対象とした学校説明会の様子

10 図書館情報センター

■ 図書館

図書館は、本郷、射水の両キャンパスにあり、本校学生・教職員の学習・教育・研究を支援しています。

本郷図書館には理学・工学系分野を中心に図書約78,000冊と雑誌約850種を、射水図書館には商船系、電子情報系、国際ビジネス系分野を中心に図書約81,000冊と雑誌約970種を備えています。各分野の専門書だけでなく幅広い分野の読み物や英語多読本、就職・進学のための資格試験問題集、さらにDVD等の視聴覚資料も利用することができます。このほか、学術データベースや電子ジャーナルを学内のパソコン等で利用できるよう整備しています。

また、一般の方々への開放も行っております。

開館日程等

	本郷図書館	射水図書館
学業期間	月曜～金曜 8:30～21:00	月曜～金曜 8:30～19:00
	土曜 10:00～15:00 試験期間中 10:00～17:00	土曜 13:00～17:00
	休業期間	休業期間
休業期間	月曜～金曜 8:30～17:00	月曜～金曜 8:30～17:00
	土曜 休館	土曜 休館

■ 情報センター

情報センターは、本郷、射水の両キャンパスに設置されており、情報処理教育の導入から高度な専門教育、教員・学生の研究及び教職員の職務遂行等の支援を行うとともに、ネットワーク環境や情報サービスの提供を行っています。

また、共同利用施設として両キャンパスに合わせて7つの演習室があり、300台を超えるPC端末、学内ネットワーク及び学外ネットワーク（SINET）の管理運営も行っています。

情報センターは放課後も開放されており、全学科、全学年の学生が、課題の提出や卒業研究等のためにインターネットや電子メール、アプリケーションソフトの利用が可能です。

本郷キャンパス



図書館閲覧室



第1演習室



図書館情報センター外観

射水キャンパス



図書館閲覧室



第1情報演習室



図書館情報センター外観

11 船舶運航センター

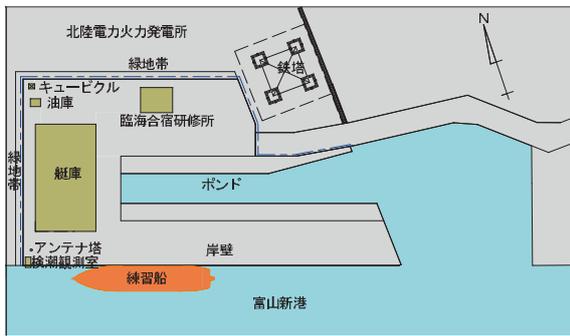
船舶運航センターは、本校の臨海実習場の運営及び練習船の運航を管理するとともに、学生実習教育及び研究等の支援を行うことを目的としています。

臨海実習場



敷地面積は11,232平方メートルで、建物として艇庫、臨海合宿研修所、油庫、検潮観測室、設備としてアンテナ塔、天井クレーン、150メートルの専用岸壁（練習船若潮丸を係留）、ポンド、浮棧橋などを備えています。

教育・研究に利用するほか、全校のカッターレース大会や、ヨット部、漕艇部（カッター部）などの課外活動に活用されています。また、地元地域の青少年や市民に開放する公開講座、企業や研究機関などの研究調査にも利用されています。



臨海実習場配置図

所在地

〒933-0226 射水市堀江千石6番4
（現在地に平成27年3月13日移転）

富山新港（伏木富山港新湊地区）東端の北側に位置しており、国道415号線の中野口交差点付近に進入口があります。

艇庫内収容の舟艇

・実習艇ペガサス	1艇
・全閉囲型救命艇ジュピター	1艇
・救助艇ちどり	1艇
・実習艇いそなみ（エンジン付伝馬船）	1艇
・伝馬船	1艇
・カッター（端艇）	4艇
・ヨット	15艇

ポンド内係留船舶

実習船わかしお3号

主要寸法：全長7.90m 幅2.64m
総トン数：4.2トン
速力：23.0ノット
最大搭載人員：乗員2名、その他10名、計12名
竣工年月日：平成10年3月26日

練習船若潮丸



練習船「若潮丸」は大型船と同等の運航システムを装備しており、商船学科学生の船舶職員養成に必要な航海実習を行うだけでなく、海洋気象観測の調査研究や他機関との共同研究を行っています。また、公開講座やオープンキャンパスを開催し、地域の市民の方々や子供たちの航海体験を通して、海の魅力と船舶の安全についての理解を深める活動を行っています。

資格：近海区域 第4種船
主要寸法：全長53.59m 幅10.00m
総トン数：231トン
航海速力：12.50ノット
航続距離：2,700海里
主機関：中速ディーゼルエンジン
1,300ps×390rpm 1基
主機プロペラ 4翼可変ピッチ
パウスラスター 1台
スタンスラスター 1台
最大搭載人員：乗組員9名、教員3名、学生44名、計56名
竣工年月日：平成7年9月14日

12 学生生活

■ 学校行事

- 4** ●入学式 ●クラブ紹介
●新入生オリエンテーション

- 5** ●新入生研修
●北斗祭（射水隔年）

- 6** ●前期中間試験
●北陸地区高専体育大会

- 7** ●カッターレース大会
●前期末試験

- 8** ●夏季休業（～9月）
●全国高専体育大会

- 9** ●県外工場見学（本郷）
●商船学科卒業式
●特別登校日（本郷）

- 10** ●県内工場見学・企業見学（射水）
●ロボットコンテスト
●合同球技大会

- 11** ●企業研究会
●後期中間試験
●志峰祭（本郷隔年）

- 12** ●冬季休業（～1月）

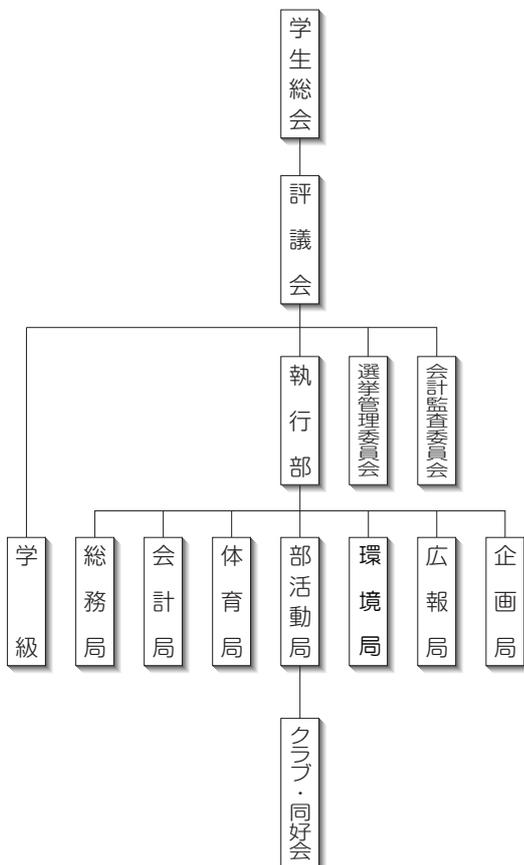
- 1** ●推薦入試

- 2** ●学力入試
●学年末試験
●卒業研究発表会

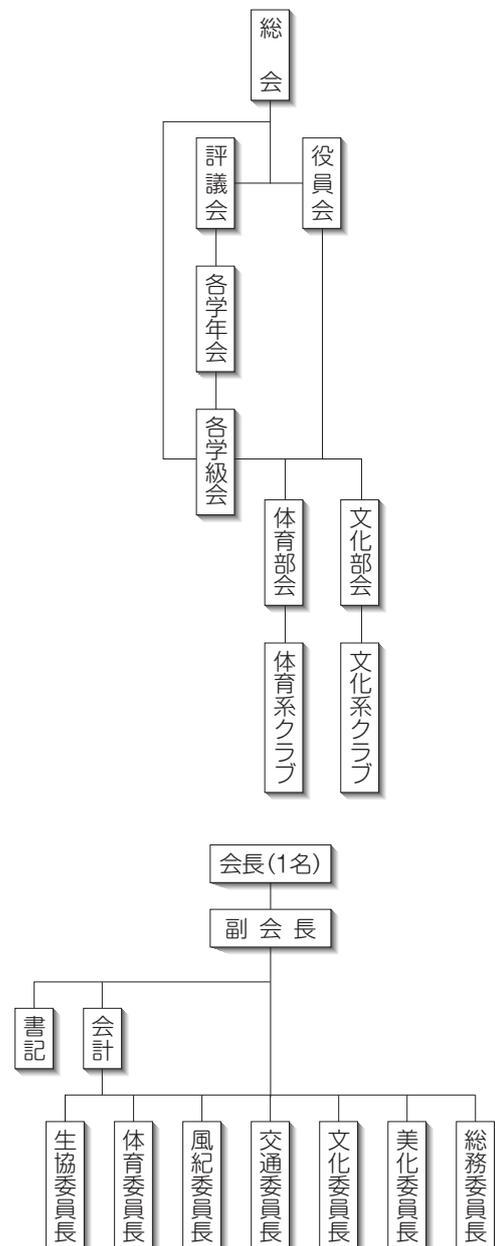
- 3** ●卒業式（商船学科を除く）

■ 学生会組織図

本郷キャンパス



射水キャンパス



■ クラブ活動

本郷キャンパス

体育系クラブ

陸上競技
サッカー
野球
柔道
弓道
剣道
男子バレーボール
バスケットボール
ラグビー・フットボール
バドミントン
テニス
ハンドボール
水泳
卓球

体育系同好会

女子バレーボール

文化系クラブ

吹奏楽
メカテック
茶道
ピアノ
芸術
軽音楽
囲碁・将棋
鉄道
知能プログラミング研究

射水キャンパス

体育系クラブ

ヨット
漕艇（カッター）
陸上競技
ラグビー
男子バスケットボール
女子バスケットボール
バレーボール
テニス
柔道
野球
サッカー
バドミントン
卓球
剣道
フリースタイルダンス

体育系同好会

水泳

文化系クラブ

新聞
デジタルメディア創作
吹奏楽
メカトロ技術研究

文化系同好会

茶道
軽音楽
ESS
美術
日本舞踊
文芸
アントレプレナー研究
機関学
書道
写真



剣道



メカトロ技術研究



メカテック



漕艇（カッター）

福利厚生施設

本郷キャンパス

学生ラウンジ・図書館前ロビー

図書館の1階にある学生ラウンジは、学生が勉強会をしたり、会議をしたり、セミナーを開いたりもできる多目的スペースです。このほかにも、図書館前ロビーなど、学生がゆったりとすごせるスペースも設けています。

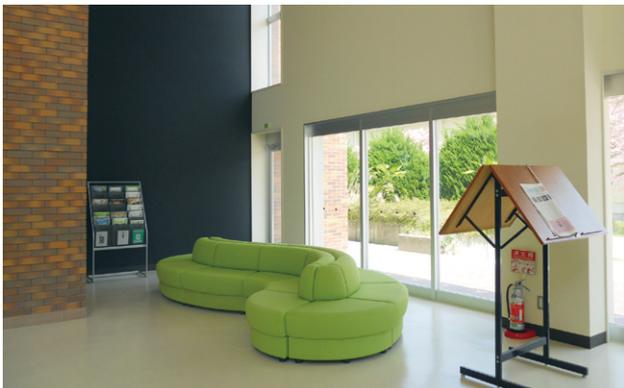
竹明館

福利施設である本館1階には食堂と生協売店があるほか、1階と2階の各室は、学生会活動等、課外活動の場として、有効に利用されています。

また、本施設とは別に、課外活動のための宿泊施設として合宿研修所があります。



学生ラウンジ



図書館前ロビー



竹明館

射水キャンパス

奈呉の浦会館

本会館1階南側に100席の食堂と館内中央ホールの一 cornerに談話コーナー、2階には多目的集会室、研修室、学生会室、美術室及び16畳の大きな和室があり茶道等の課外活動の場として有効に利用されています。また、本会館隣接地には、生協売店が福利厚生の充実を目的に設置されており、快適な学生生活に寄与しています。



奈呉の浦会館前風景



売店



食堂

■ 学生相談室

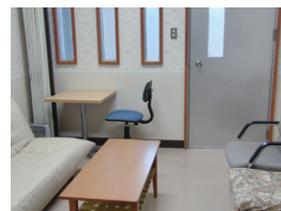
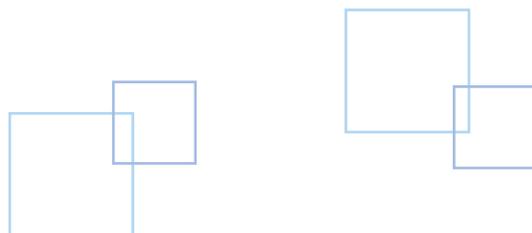
学生相談室には、室長、並びに相談員（教職員）、看護師、カウンセラー（臨床心理士等）が配置されています。学業・進路、友人関係、クラブなど学校生活に関する相談、精神衛生に関する相談、個人的な問題など、スタッフが学生と一緒に解決の方法を考えます。また、学生だけでなく保護者からの相談も受けつけています。

各キャンパスの相談室の開室時間は以下の通りです。

本郷キャンパス			
学 生 相 談 室	月～金	相談員	15:30 - 17:00
	月～金	カウンセラー	10:00 - 17:00
	水	カウンセラー	13:00 - 17:00
保 健 室	月～金	看護師	8:30 - 17:00
射水キャンパス			
学 生 相 談 室	月～金	カウンセラー	10:00 - 17:00
保 健 室	月～金	看護師	8:30 - 17:00



学生相談室（本郷キャンパス）



学生相談室（射水キャンパス）

■ 学寮

学生の就学の便を図るため、学寮を設置しています。本郷キャンパスでは「**仰岳寮**」、射水キャンパスでは「**和海寮**」と呼ばれ、それぞれのキャンパスの学生を受け入れています。

この学寮は「教育寮」としての特徴を持ち、大学などの「任意寮」や下宿とは異なり、学生に生活の場を提供するだけでなく、本校教育の一環として、集団生活を通して社会の秩序と倫理を重んじる気風の醸成を目的としています。

また寮生相互の親睦を図るため、学生組織が主催する独自の年間行事が企画されています。それらを通して学寮には、家庭にはない友人との語りや先輩・後輩の付き合いがあり、人と人との触れ合いの場ともなっています。

仰岳寮（本郷キャンパス）

令和3年5月1日現在

定員	学 年	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	合 計
	機械システム工学科	13(1)	4(2)	11(5) 《1》	5 《1》	10	43(8) 《2》
	電気制御システム工学科	11	10(2)	11(2)	7	7(1)	46(5)
	物質化学工学科	12(7)	10(7)	11(4) 《1》	13(6)	10(4) 《1》	56(28) 《2》
	エコデザイン工学専攻		1				1
	合 計	36(8)	25(11)	33(11) 《2》	25(6) 《1》	27(5) 《1》	146(41) 《4》

() は女子、《 》 は留学生で共に内数

和海寮（射水キャンパス）

令和3年5月1日現在

定員	学 年	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	合 計
	電子情報工学科	7(4)	11(2)	7(1)	8(2)	2(1)	35(10)
	国際ビジネス学科	13(10)	16(12)	13(13)	13(13)	13(12)	68(60)
	商 船 学 科	21(3)	27(4)	22(9)	17(3)	9(2)	96(21)
	制御情報システム工学専攻						
	国際ビジネス学専攻						
	海事システム工学専攻						
	合 計	41(17)	54(18)	42(23)	38(18)	24(15)	199(91)

() は女子、《 》 は留学生で共に内数

13 地域社会との連携

■技術振興会

富山高等専門学校技術振興会は、本校を拠点とした研究交流を通じて、産学官協働による知的資源の創造と地域経済の活性化に資するとともに、本校の教育に関して必要な助成を行うことを目的に設立されました。現在、会員は企業会員270社、個人会員16名です。
(令和3年6月1日現在)

設立の経緯は、平成17年8月に技術振興会発起人会が立ち上がり、同年10月に設立の運びとなりました。平成21年10月に高度化再編し富山高等専門学校となってから同年12月の総会で現在の形となりました。歴代の会長は次の方々です。

- 初代：田中 一郎 田中精密工業株式会社／代表取締役社長
(任期：平成17年10月24日～平成19年10月31日)
- 第2代：宮野 兼美 立山マシン株式会社／代表取締役社長
(任期：平成19年11月1日～平成21年12月13日)
- 第3代：河村 孝一 朝日印刷株式会社／代表取締役社長
(任期：平成21年12月14日～平成23年10月27日)
- 第4代：松田 登 ファインネクス株式会社／代表取締役社長
(任期：平成23年10月28日～平成25年10月31日)
- 第5代：藤堂 利一 藤堂工業株式会社／代表取締役社長
(任期：平成25年11月1日～平成27年11月2日)
- 第6代：濱 尚 朝日印刷株式会社／代表取締役社長
(任期：平成27年11月3日～令和元年11月1日)
- 第7代：石崎 大善 株式会社アイザック／代表取締役社長
(任期：令和元年11月2日～現在)

技術振興会の事業として、会員企業向け事業の例を次に示します。

●講演会等の開催

- ・富山高等専門学校長賞雅寛而による「富山高等専門学校の教育体制整備」との演題で講演会(H29.11.2)を開催
- ・田辺工業株式会社 富山営業所長 金内 康氏、株式会社アイパック 相談役 高見 貞徳氏、株式会社エーティーワークス 社長室 土田 満氏、トヤマ商事株式会社 代表取締役 森実 智洋氏による「富山高等専門学校技術振興会のこれまでとこれから」をテーマとしたパネルディスカッション(H30.10.26)を開催
- ・ガラス造形作家 小島 有香子 氏による「地域とアート」との演題で講演会(R1.11.1)を開催

さらに、本校への技術振興会からの支援事業の例については次の通りです。

- 学生インターンシップ事業の支援
- キャリア教育・就職支援
- 会員企業と富山高専の学生との連携教育の実施
- 会員企業を富山高専の学生に紹介する企業研究会の開催
- 富山高専コーディネーターの産学官連携活動を支援
- 会員企業との共同研究に対する助成



講演会の様子



産学連携教育の様子

■公開講座（令和元年度・2年度実施分）

講座名	開設分野	受講対象者	開設時期	募集人数
集まれ！身近で活躍する機械・ロボットに興味がある生徒たち 4テーマをオムニバス形式で体験しよう！	機械系	中学生	令和2年11月7日～11月8日	160
マイコン付き電子回路の製作とプログラミング体験	電気・電子系	中学生	令和2年11月7日～11月8日	60
現実世界とコンピュータ世界をつなごう。 「AR(拡張現実)プログラミング体験」	電気・電子系	中学生	令和2年11月7日～11月8日	60
実践体感！二足歩行ロボットのプログラミング	電気・電子系	中学生	令和2年11月7日～11月8日	72
ポリマーで虹を見よう	物質系	中学生	令和2年11月7日～11月8日	80
Webアプリケーションの作成体験！ 商品購入のWebページづくり 空中の電波を見よう 電池無しでLEDの点灯実験	電気・電子系 情報系	中学生	令和2年11月7日～11月8日	80
異文化について学ぼう/ビジネスの学習を体験しよう	人文系	中学生	令和2年11月7日～11月8日	320
船の仕事を見てみよう 海と船を学ぶ	商船系	中学生	令和2年11月7日	40
シミュレータで巨大船を動かそう 船の動きを学ぶ エンジンを動かそう 構造と動きを学ぶ	商船系	中学生	令和2年11月8日	20
ロボットプログラミング体験 自分のプログラムでロボットを走らせよう！	機械系	中学生	令和元年8月3日～8月4日	15
真空砲-常識の壁を打ち破れ-	機械系	中学生	令和元年8月3日～8月4日	15
にじいろパワーストーンを用いたマグネット・インテリアを作ろう！	機械系	中学生	令和元年8月3日～8月4日	16
「歩行」とは何か？ ～人型ロボットを通じて体感する「動き」と「物理」～	電気・電子系	中学生	令和元年8月3日～8月4日	20
学んで遊ぼう！電子回路モノ作りとIoT用エナジーハーベスト体験	電気・電子系	中学生	令和元年8月3日～8月4日	15
3Dプリンターで新しいものづくりを体験しよう	電気・電子系	中学生	令和元年8月3日～8月4日	20
見て感じよう！光と色が織りなす化学と水質分析	情報系	中学生	令和元年8月3日～8月4日	20
天然の匂い成分を取り出そう☆アロマウォーターの作り方☆	情報系	中学生	令和元年8月3日～8月4日	16
巨大ロボットの作り方-巨大ロボットは大地に立つか？	機械系	中学生	令和元年11月16日～11月17日	20
ミッション：探査機を無事に着陸させよ	機械系	中学生	令和元年11月16日～11月17日	20
ロボットプログラムで迷路から抜け出そう！	機械系	中学生	令和元年11月16日～11月17日	10
中の人などいない！歩け！！二足歩行ロボット！！	電気・電子系	中学生	令和元年11月16日～11月17日	20
学んで遊ぼう！電子回路モノ作りとIoT用エナジーハーベスト体験	電気・電子系	中学生	令和元年11月16日～11月17日	15
3Dプリンターで新しいものづくりを体験しよう	電気・電子系	中学生	令和元年11月16日～11月17日	20
暮らしの悪臭を除去する物質の化学	物質系	中学生	令和元年11月16日～11月17日	16
色で判定！溶液中の金属イオン	物質系	中学生	令和元年11月16日～11月17日	16
コンピュータを組み立てよう ー今年は入れ換えてパワーアップー	情報系	中学生	令和元年8月23日	12
スマホアプリって自分で作れるの？	情報系	中学生	令和元年8月7日～8月9日	45
ロボットの頭脳とは～LEGOを使ったプログラミング実験～	情報系	中学生	令和元年8月7日～8月9日	48
電子情報まるわかり！ -電気電子・ネットワーク・プログラミングを体験-	電気・電子系	中学生	令和元年8月7日～8月9日	36
異文化について学ぼう	人文系	中学生	令和元年8月7日～8月9日	240
若潮丸体験航海（航海士・機関士の仕事）	商船系	中学生	令和元年8月7日～8月9日	120
English for Global Communication. -グローバルコミュニケーションのための英語-	人文系	中学生	令和元年8月7日	20
すぐに使える簡単な中国語会話！	人文系	中学生	令和元年8月8日	16
リスニングに強くなる英語発音講座	人文系	中学生	令和元年8月9日	25
空中の電波を見よう-電池無しでLEDの点灯実験-	電気・電子系	中学生	令和元年11月10日及び11月17日	30
Webアプリケーションの作成体験!-商品購入のWebページづくり-	情報系	中学生	令和元年11月10日及び11月17日	32
異文化について学ぼう-学生の体験談を通じて異文化について学ぶ-	人文系	中学生	令和元年11月10日及び11月17日	160
ビジネスの学習を体験しよう	人文系	中学生	令和元年11月10日及び11月17日	160
船の仕事を見てみよう-海と船を学ぶ-	商船系	中学生	令和元年11月10日	35
シミュレータで巨大船を動かそう-船の動きを学ぶ-	商船系	中学生	令和元年11月17日	20
エンジンを組み立てて動かそう-構造と動きを学ぶ-	商船系	中学生	令和元年11月17日	20
ひらめきときめきサイエンス	物質系	小・中学生	令和元年8月19日～8月20日	40

■出前授業（令和元年度実施分） ※令和2年度はコロナ禍のため未実施

講座名	開設分野	受講対象者	開設時期	募集人数
たまごを守れ！	機械系	小・中学生	6月29日	40
LEGOを使ったロボットプログラミング実習	電気・電子系	小学生	9月21日	60
放射線の基礎とその応用	電気・電子系	中学生	10月2日	50
金と宝石の化学	物質系	中学生	11月7日	49
コミュニケーションに役立つ表現力を身につけよう！	人文系	中学生	12月3日	40

14 研究活動

■ 科研費採択状況

□ 文部科学省科学研究費助成事業

種目	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
基盤研究（A）	件数	0	1	1	0	0
	金額	0	11,700	14,040	0	0
基盤研究（B）	件数	1	1	1	1	1
	金額	2,730	1,950	5,850	4,030	5,070
基盤研究（C）	件数	22	26	24	26	27
	金額	35,880	32,370	28,990	38,870	36,660
挑戦的萌芽研究 ※1	件数	4	3	1	0	0
	金額	3,640	3,120	780	0	0
若手研究（B） ※2	件数	6	7	4	2	0
	金額	7,150	12,090	3,640	1,950	0
若手研究 ※3	件数	/		1	3	4
	金額			910	2,470	2,470
研究活動スタート支援	件数	1	0	0	0	0
	金額	1,170	0	0	0	0
特別研究員奨励費	件数	0	0	0	0	0
	金額	0	0	0	0	0
研究成果公開促進費 ※4	件数	/			1	0
	金額				460	0
奨励研究	件数	2	2	1	2	4
	金額	1,140	780	530	1,080	1,800
合計	件数	36	40	33	35	36
	金額	51,710	62,010	54,740	48,860	46,000

金額単位：千円 間接経費含む ※1 平成29年度より募集停止 ※2 平成30年度より募集停止

※3 平成30年度より募集開始 ※4 令和元年度採択分から科研費として実施

■ 共同研究実施状況

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
件数	51	67	66	59	63
金額	19,764	19,112	18,572	26,066	23,234

金額単位：千円

■ 受託研究・受託事業実施状況

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
件数	10	5	10	13	9
金額	6,264	3,029	5,841	9,940	17,284

金額単位：千円 間接経費含む

■ 寄附金受入状況

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
件数	29	28	32	23	23
金額	28,646	51,070	32,095	27,823	36,703

金額単位：千円

15 国際交流活動

国際学術協定校

米国・ハワイ大学

カウアイコミュニティカレッジ

平成21年10月、本校と米国ハワイ州のカウアイコミュニティカレッジ（KCC）と協約書が交わされ、また平成22年11月には、商船学科を設置している4つの高等専門学校を加えて全国5高専による包括協定が締結され、教員を対象として国際交流プログラムの推進や海事に関する専門知識の共有と向上、技術及び教育における連携を進めています。

現在、本校学生がKCCにおいて国際インターンシップや英語圏異文化実習を受講する一方で、KCCの学生も本校へ短期留学するなど、盛んな交流を行っています。

英国・北アイルランド

サウスイースタン地区連合カレッジ

英国北アイルランドサウスイースタン地区連合カレッジ(SERC)とは、平成22年3月に交流協定書に調印し、専攻科の国際インターンシップを行っています。現在も教員の相互訪問を続けながら国際交流活動を推進しています。

ハンガリー・ハンガリー科学アカデミーMFA、 パズマニー・ペーテルカトリック大学PPCU、 ブタペスト工科経済大学BME

平成27年、ブタペスト市内の上記3つの研究機関、MFA、PPCU、BMEとの国際学術協定を締結しました。

MFAはハンガリー科学アカデミーの下部組織で、欧州内でも研究レベルの高い機関として、ナノ材料やナノシステムなどの研究を行っています。PPCUは360年の歴史を有するハンガリー最古の大学の一つであり、現在は情報工学と生体工学を柱とした21世紀の産業を担う学術領域の立上げを目指しています。BMEはハンガリー最大の大学であり、世界中のトップ企業とも共同研究を進めている学際性、国際性に優れた大学です。

今後、研究者および学生の交流を促進させ、連携を通じた本校の研究・教育の発展をめざします。

タイ・キングモンクット工科大学ラカバン校

国立高等専門学校機構の包括協定校であるタイ・キンクン校を含んでいます。また同大学から教員を招へいし、学生向け講義を実施したり、年1回程度、国際共同セミナーを実施したりしています。

タイ・ランブーン農業技術カレッジ

平成27年に交流協定を締結しました。本校の学生とペアを組み、タイにある日系企業でインターンシップを行う枠組みでの交流を実施しております。

中国・東北大学

東北大学(中国遼寧省瀋陽市)との国際学術交流は本校の前身の一部である富山工業高等専門学校が平成15年12月に協定を締結したことに始まります。本校の統合に伴い、より深化した国際交流を目的として平成22年10月に再調印しました。

東北大学は、中国でトップクラスの実力を有し、国家重点大学の一つです。これまで、東北大学研究者の中期招聘研究交流、本校教員の長期海外研究員派遣、国際共同セミナーの実施等が行われています。

シンガポール・テマセクポリテクニク、 ナンヤンポリテクニク

両校とは、平成23年、25年にそれぞれ交流協定を締結しており、主として短期留学生の受入による交流を継続的に実施しております。

フィンランド・ヴァーサ・リュセオ高等学校

平成29年に交流協定を締結しました。現在、主に低学年の学生交流を実施しております。



キングモンクット工科大学からの短期留学生と本校学生の交流学習



KCCでのカヌー実習



SERC学長の表敬訪問



SERCでのロボット制御実習

■海外研修プログラム

学生の異文化体験と英語力の向上、さらには海外での実務経験を目的とする海外研修プログラムが平成18年より開始されました。海外研修プログラムの開設に先立っては、研修相手校との協定締結や、本校教員による研修中の支援体制の整備など、安全かつ円滑な海外研修の実施に配慮しています。

□1年留学プログラム

平成18年にカナダ西海岸のナナイモ市にあるバンクーバーアイランド大学附属高校との間に留学に関する協定を結び、平成20年4月より1年間の留学プログラムを実施しています。



バンクーバーアイランド大学附属高校留学中の学生

□半年留学プログラム

平成17年に留学に関する協定を結び、平成18年4月より、異文化体験と英語研修を行っています。国際ビジネス学科の4年生を対象に、カナダ西海岸のビクトリア市にあるビクトリア大学イングリッシュ・ランゲージ・センターで約5ヶ月活動するプログラムです。



ビクトリア大学イングリッシュ・ランゲージ・センター留学中の学生

□異文化実習

研修先 韓国、台湾、ロシア、米国(カリフォルニア州、ハワイ州)の各教育機関

対象 本科3～5年生(但し、米国は本科2～5年生)

期間 3～4週間

内容 語学やそれぞれの国の文化等を学ぶ実習

□米国・ハワイ州国際インターンシップ

研修先 ハワイ大学カウアイコミュニティカレッジ
(平成21年交流協定締結)

対象 専攻科生(海事システム工学専攻)・本科3～5年生(商船学科)

期間 2～3週間

内容 ポリネシア伝統航海術等の海事技術研修・語学訓練

□英国・北アイルランド国際インターンシップ

研修先 現地企業・サウスイースタン地域連合カレッジ(平成22年交流協定締結)

対象 専攻科生(国際ビジネス学専攻・制御情報システム工学専攻)

期間 4週間

内容 国際ビジネス専攻：企業実習・カレッジでの専門講習(各2週間)

工学系専攻：語学研修・実務訓練(各2週間)

□東南アジア海外インターンシップ

研修先 県内企業のタイ・マレーシア現地法人

対象 専攻科生・本科4年生

期間 2～3週間

内容 実務研修

□アカデミック インターンシップ

研修先 ハンガリー、タイの大学・研究機関

対象 専攻科生

期間 4週間程度

内容 研究室に配属し、提携校・期間の指導教員の下で各自の研究課題に取り組む

■短期留学生受入

国立高等専門学校機構との包括協定に基づき、平成24年4月より、タイ・キングモンクット工科大学ラカバン校から短期留学生を受け入れています。平成25年8月には本校と交流協定を締結し、受け入れ人数をさらに増やして交流を拡大しています。

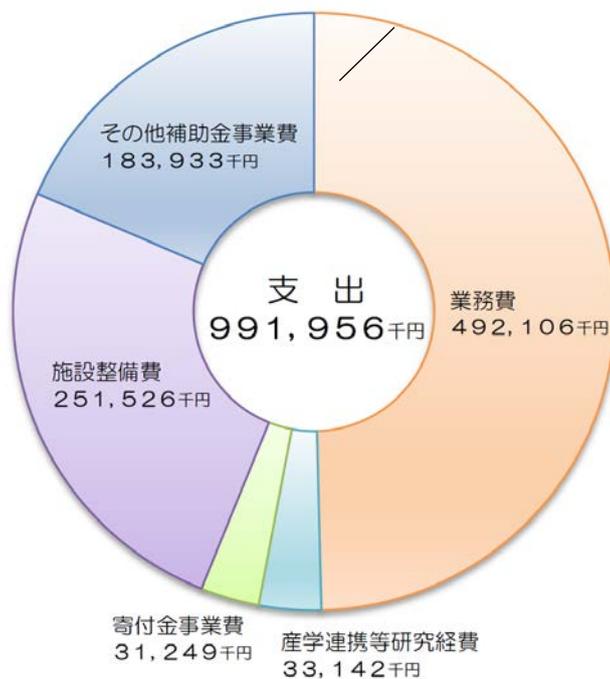
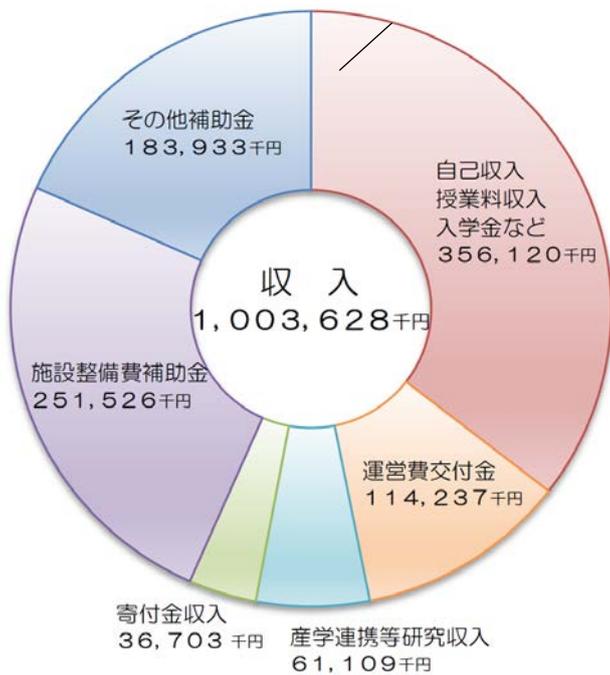
また、国立高等専門学校機構の包括提携校であり、本校の交流提携校でもあるシンガポール・テマセクポリテクニク及びナンヤンポリテクニクからも、短期留学生を受け入れています。



高専祭に参加している留学生

16 財務状況

令和2年度予算



施設

[本郷キャンパス]

区分		団地名		計
		本郷団地	旭団地	
土地	校舎敷地	55,472		55,472
	屋外運動場敷地	36,561		36,561
	寄宿舍敷地	12,535		12,535
	職員宿舍敷地	2,863	365	3,228
	合計	107,431	365	107,796

(単位：㎡)

区分		団地名		計
		本郷団地	旭団地	
建物	校舎	13,973		13,973
	体育館	3,674		3,674
	寄宿舍	4,493		4,493
	図書館	1,633		1,633
	福利施設	1,227		1,227
	管理部	1,483		1,483
	その他	1,023		1,023
	設備室	245		245
	職員宿舍 (戸数)	789 (12)	105 (1)	894 (13)
	合計	28,540	105	28,645

(単位：㎡)

[射水キャンパス]

区分		団地名		計
		海老江練合団地	堀江千石団地	
土地	校舎敷地	45,336		45,336
	屋外運動場敷地	41,703		41,703
	寄宿舍敷地	15,808		15,808
	実験実習地		11,232	11,232
	職員宿舍敷地	6,962		6,962
合計	109,809	11,232	121,041	

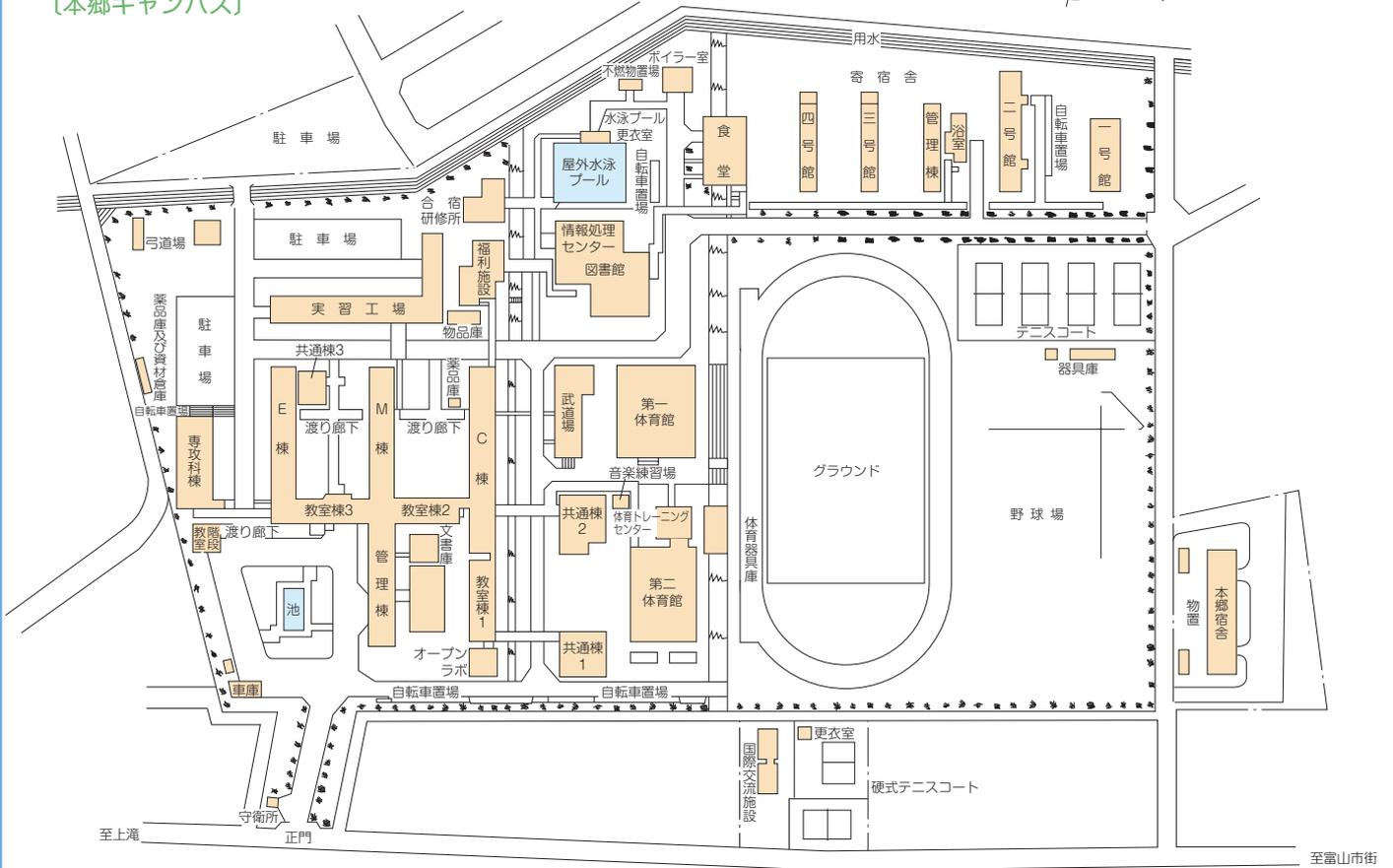
(単位：㎡)

区分		団地名		計
		海老江練合団地	堀江千石団地	
建物	校舎	14,099	1,423	15,522
	体育館	3,031		3,031
	寄宿舍	7,029		7,029
	図書館	1,626		1,626
	福利施設	1,347		1,347
	管理部	1,537		1,537
	その他	996		996
	設備室	399		399
	職員宿舍 (戸数)	639 (9)		639 (9)
	合計	30,703	1,423	32,126

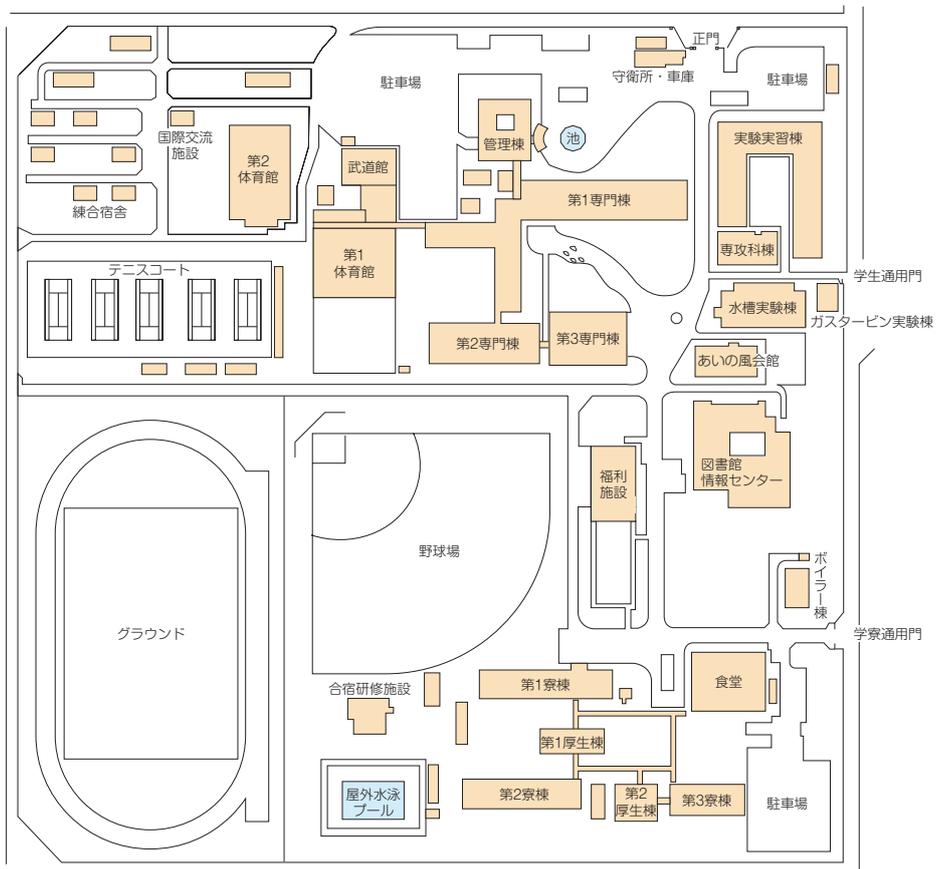
(単位：㎡)

■ キャンパスマップ

〔本郷キャンパス〕



〔射水キャンパス〕



臨海実習場の配置図はP4 1にあります。

17 在学状況

■学生の定員と現員

〔本郷キャンパス〕

令和3年5月1日現在

定員	学年	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	専攻科 1学年	専攻科 2学年	合計
機械システム工学科	40名	43 (3)	40 (4)	41 (8) ①	39 (4) ①	37 (1)			200 (20) ②
電気制御システム工学科	40名	45 (4)	42 (6)	47 (8)	36	41 (4)			211 (22)
物質化学工学科	40名	43 (22)	41 (21)	44 (22) ①	37 (22)	40 (19) ①			205 (106) ②
エコデザイン工学専攻	24名						31 (4)	27 (6)	58 (10)
合計		131 (29)	123 (31)	132 (38) ②	112 (26) ①	118 (24) ①	31 (4)	27 (6)	674 (158) ④

注1 ()内数字は、女子学生数を内数で示す。 注2 ○内数字は、外国人留学生数を内数で示す。

〔射水キャンパス〕

令和3年5月1日現在

定員	学年	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	実習生	専攻科 1学年	専攻科 2学年	合計
電子情報工学科	40名	44 (16)	45 (11)	46 (10)	44 (12)	39 (12)				218 (61)
国際ビジネス学科	40名	44 (37)	43 (38)	41 (40)	40 (38)	40 (35)				208 (188)
商船学科航海コース 40名 機関コース 20名	20名	41 (9)	21 (8)	23 (11)	18 (2)	19 (6)	21 (7)			247 (62)
制御情報システム工学専攻	8名							14 (2)	15 (4)	29 (6)
国際ビジネス学専攻	4名							4 (2)	5 (5)	9 (7)
海事システム工学専攻	4名							1 (0)	5 (2)	6 (2)
合計		129 (62)	130 (59)	132 (68)	124 (56)	121 (57)	37 (9)	19 (4)	25 (11)	717 (326)

注1 ()内数字は、女子学生数を内数で示す。 注2 ○内数字は、外国人留学生数を内数で示す。

■出身地別在学生数

〔本郷キャンパス〕

令和3年5月1日現在

所在地	学年	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	専攻科 1学年	専攻科 2学年	合計
富山県		120 (24)	121 (30)	126 (36)	104 (25)	116 (23)	30 (4)	27 (6)	644 (148)
石川県			1	1	3				5
東京都		1 (1)							1 (1)
埼玉県					1				1
新潟県		2	1 (1)						3 (1)
長野県				1 (1)					1 (1)
岐阜県		6 (3)		1	2 (1)	1			10 (4)
静岡県				1 (1)					1 (1)
愛知県		1 (1)							1 (1)
奈良県		1							1
大阪府							1		1
外国				2	2	1 (1)			5 (1)
合計		131 (29)	123 (31)	132 (38)	112 (26)	118 (24)	31 (4)	27 (6)	674 (158)

()は、女子で内数

〔射水キャンパス〕

令和3年5月1日現在

所在地	学年	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	実習生	専攻科 1学年	専攻科 2学年	合計
富山県		103 (53)	97 (47)	102 (50)	106 (49)	108 (50)	30 (5)	18 (4)	21 (9)	585 (267)
石川県		4 (1)	8 (5)	5 (3)	3 (2)	4 (3)	3 (3)			27 (17)
北海道		1								1
青森県				1 (1)						1 (1)
宮城県		2	2 (1)			1	1			6 (1)
山形県			1			1 (1)			1 (1)	3 (2)
福島県				1 (1)		1	1		1 (1)	4 (2)
茨城県				3 (1)						3 (1)
群馬県			1			1				2
千葉県			1							1
埼玉県		1			1					2
東京都		1	1	5 (1)						7 (1)
神奈川県		2 (1)		2 (1)	2	1 (1)				7 (3)
新潟県		1	2	1 (1)	2 (1)					6 (2)
福井県									1	1
長野県		1 (1)	3 (2)	1 (1)	1					6 (4)
岐阜県		6 (3)	8 (3)	3 (3)	2 (1)	2 (1)	1 (1)			22 (12)
静岡県		1	1 (1)	1 (1)	1					4 (2)
愛知県		2 (1)			1					3 (1)
三重県			1							1
滋賀県				2 (2)	1 (1)					3 (3)
京都府		1		1						2
大阪府		1 (1)	2	1		1			1	6 (1)
兵庫県		1 (1)	1	2 (1)	3 (1)		1			8 (3)
山口県					1 (1)					1 (1)
香川県		1				1 (1)				2 (1)
福岡県			1							1
熊本県				1 (1)						1 (1)
長崎県							1			1
合計		129 (62)	130 (59)	132 (68)	124 (56)	121 (57)	37 (9)	19 (4)	25 (11)	717 (326)

()は、女子で内数

18 入試状況

■ 本科入学者選抜

学 科	入学 定員	平成29年度			平成30年度			令和元年度			令和2年度			令和3年度			
		志願 者数	受験 者数	合格 者数													
A I・ ロ ボ ッ ト 学 類	機械システム工学科	推薦	10	10	10	18	18	18	18	18	18	31	31	21	22	22	22
		学力	46	46	32	45	45	23	46	46	23	64	64	21	45	45	21
		帰国生徒				1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	全体	56	56	42	64	64	42	64	64	41	85	85	42	67	67	43	
	電気制御システム工学科	推薦	26	26	21	22	22	20	30	30	20	35	35	20	25	25	20
		学力	47	47	22	40	40	22	60	59	23	57	56	23	45	43	24
		帰国生徒				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	全体	69	69	43	61	61	42	80	80	43	78	78	43	65	64	44	
	電子情報工学科	推薦	22	22	21	46	46	20	49	49	20	38	38	20	44	44	24
学力		70	69	23	72	70	24	76	74	23	72	72	21	74	73	20	
帰国生徒					0	0	0	0	0	0	2	2	2	0	0	0	
全体	91	90	44	92	92	44	96	96	43	94	94	43	101	101	44		
物質化学工学科	推薦	30	30	21	38	38	20	44	44	21	39	39	21	44	44	20	
	学力	84	84	20	44	44	22	62	62	20	59	59	20	55	50	23	
	帰国生徒				0	0	0	1	1	1	0	0	0	1	1	0	
全体	105	105	41	64	64	42	85	85	42	80	80	41	77	76	43		
国際ビジネス学科	推薦	55	55	20	74	73	20	62	62	20	66	66	20	73	73	23	
	学力	77	76	23	83	77	21	76	73	23	72	70	23	71	71	21	
	帰国生徒				0	0	0	0	0	0	2	2	0	1	1	0	
全体	97	96	43	103	101	41	97	97	43	96	96	43	98	98	44		
商船学科	推薦	24	24	20	24	24	20	30	30	20	35	35	22	28	28	20	
	学力	39	39	20	40	40	22	49	49	22	50	50	21	47	45	22	
	帰国生徒				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
全体	60	60	40	61	61	42	70	70	42	73	73	43	67	65	42		
合 計	推薦	167	167	113	222	221	118	233	233	119	244	244	124	236	236	129	
	学力	363	361	140	324	316	134	369	363	134	374	371	129	337	327	131	
	帰国生徒				1	1	1	1	1	1	4	4	2	2	2	0	
	全体	478	476	253	445	443	253	492	492	254	506	506	255	475	471	260	

※A I・ロボット学類は令和3年度入学者から適用される。

※各学科の「学力検査による選抜」における「受験者数」は第1志望の「受験者数」、各学科の「合格者数」には第2・3志望合格者数を含む。また、A I・ロボット学類の各学科の「推薦による選抜」における「受験者数」は第1志望の「受験者数」、各学科の「合格者数」には第2・3志望合格者数を含む。

※「志願者数」及び「受験者数」の全体は、「推薦による選抜」の数と、「学力検査による選抜」及び「帰国生徒特別選抜」の数から「推薦による選抜」の不合格数で「学力検査による選抜」または「帰国生徒特別選抜」の「志願者数」及び「受験者数」を除いた数を合算したもの。

■ 4年次編入学者選抜

学 科	入学 定員	平成29年度			平成30年度			令和元年度			令和2年度			令和3年度		
		志願 者数	受験 者数	合格 者数												
A I・ ロ ボ ッ ト 学 類	機械システム工学科	若干名	0	0	0	/	0	0	0	2	2	0	0	0	0	
電気制御システム工学科	若干名	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
電子情報工学科	若干名	0	0	0	2		2	1	0	0	0	0	0	0	0	
物質化学工学科	若干名	1	1	0	0		0	0	0	0	0	0	1	1	1	
国際ビジネス学科	若干名	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
商船学科	—															
合 計	若干名	1	1	0			2	2	1	2	2	0	1	1	1	

※A I・ロボット学類は令和6年度4年次編入学者から適用される。

※平成30年度については、各学科の受入年次において欠員が生じなかったことから募集を実施しなかった。

■ 専攻科入学者選抜

専 攻	入学 定員	平成29年度			平成30年度			令和元年度			令和2年度			令和3年度			
		志願 者数	受験 者数	合格 者数													
エコデザイン工学専攻	推薦	24	24	24	8	8	8	25	25	25	19	19	19	17	17	17	
	学力	18	14	10	21	19	11	12	8	4	9	8	8	21	20	14	
	社会人	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	全体	42	38	34	29	27	19	37	33	29	28	27	27	38	37	31	
制御情報システム工学専攻	推薦	8	9	9	11	11	11	11	11	11	10	10	10	10	10	10	
	学力	1	1	1	0	0	0	3	3	3	4	3	3	4	4	4	
	社会人	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	全体	10	10	10	11	11	11	14	14	14	14	13	13	14	14	14	
国際ビジネス学専攻	推薦	4	3	3	3	3	3	3	3	3	5	5	5	2	2	2	
	学力	3	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	3	
	社会人	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	全体	6	6	4	3	3	3	3	3	3	5	5	5	5	5	5	
海事システム工学専攻	推薦	4	1	1	1	2	2	2	4	4	4	0	0	0	6	6	6
	学力	2	2	2	4	3	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
	社会人	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	全体	3	3	3	6	5	5	5	5	5	1	1	1	7	7	7	

19 進路状況

求人倍率も就職率も高いのが、富山高等専門学校の特徴です。産業界に高く評価され、卒業生・修了生は県内外の企業や官公庁で活躍しています。

また、卒業後は4年制大学の3年次（一部2年次）に編入学できます。本校をはじめとする高等専門学校の専攻科（2年制）にも進学できます。これまで卒業生の約半数が、進学の道を選択しています。

進学

機械システム工学科

国立 富山高等専門学校専攻科、秋田大学、東北大学、筑波大学、千葉大学、東京大学、東京工業大学、東京農工大学、新潟大学、長岡技術科学大学、富山大学、金沢大学、福井大学、信州大学、名古屋大学、豊橋技術科学大学、三重大学、京都工芸繊維大学、大阪大学、岡山大学、山口大学、琉球大学

私立 工学院大学

電気制御システム工学科

国立 富山高等専門学校専攻科、東北大学、筑波大学、群馬大学、宇都宮大学、千葉大学、電気通信大学、横浜国立大学、新潟大学、長岡技術科学大学、富山大学、金沢大学、静岡大学、名古屋大学、名古屋工業大学、豊橋技術科学大学、岡山大学

公立 東京都立大学、富山県立大学、大阪公立大学

私立 早稲田大学

物質化学工学科

国立 富山高等専門学校専攻科、北海道大学、山形大学、東北大学、群馬大学、千葉大学、東京工業大学、東京農工大学、新潟大学、長岡技術科学大学、富山大学、金沢大学、福井大学、信州大学、名古屋大学、名古屋工業大学、豊橋技術科学大学、岐阜大学、京都工芸繊維大学、大阪大学、奈良女子大学、岡山大学、広島大学、九州大学、鹿児島大学

公立 高崎経済大学、東京都立大学、大阪公立大学

電子情報工学科

国立 富山高等専門学校専攻科、筑波大学、宇都宮大学、千葉大学、東京大学、電気通信大学、新潟大学、長岡技術科学大学、富山大学、金沢大学、静岡大学、豊橋技術科学大学、広島大学、熊本大学、鹿児島大学

国際ビジネス学科

国立 富山高等専門学校専攻科、北海道大学、筑波大学、埼玉大学、お茶の水女子大学、東京外国語大学、新潟大学、富山大学、金沢大学、信州大学、名古屋大学、滋賀大学、京都大学、大阪大学、神戸大学、奈良女子大学、広島大学、香川大学、九州大学、鹿屋体育大学

公立 長野大学、大阪公立大学

私立 駒澤大学、上智大学、中央大学、日本大学、明治大学、南山大学、京都女子大学、大阪経済大学、関西大学、関西外国語大学

外国 北京語言大学、キャピラノ大学、アーカンソー大学（州立）

商船学科（航海コース）

国立 富山高等専門学校専攻科、鳥羽商船高等専門学校専攻科、秋田大学、東京海洋大学、神戸大学、鹿屋体育大学

商船学科（機関コース）

国立 富山高等専門学校専攻科、東京海洋大学、長岡技術科学大学、神戸大学、鹿屋体育大学

エコデザイン工学専攻

国立 東北大学大学院、筑波大学大学院、千葉大学大学院、東京医科歯科大学大学院、電気通信大学大学院、東京工業大学大学院、横浜国立大学大学院、長岡技術科学大学大学院、富山大学大学院、金沢大学大学院、北陸先端科学技術大学院大学、信州大学大学院、名古屋大学大学院、名古屋工業大学大学院、豊橋技術科学大学大学院、京都工芸繊維大学大学院、大阪大学大学院、奈良先端科学技術大学院大学、和歌山大学大学院、九州工業大学大学院

公立 東京都立大学大学院、富山県立大学大学院、大阪公立大学大学院

制御情報システム工学専攻

国立 東北大学大学院、東京工業大学大学院、金沢大学大学院、北陸先端科学技術大学院大学、豊橋技術科学大学大学院、奈良先端科学技術大学院大学

国際ビジネス学専攻

国立 北陸先端科学技術大学院大学

本科卒業生進学先一覧（全学科過去5年間分）

学校名	専攻/学部	機械システム工学科					電気制御システム工学科					物質化学工学科					電子情報工学科					国際ビジネス学科					商船学科					進学者数計												
		計					計					計					計					計																						
		2017年3月	2018年3月	2019年3月	2020年3月	2021年3月	2017年3月	2018年3月	2019年3月	2020年3月	2021年3月	2017年3月	2018年3月	2019年3月	2020年3月	2021年3月	2017年3月	2018年3月	2019年3月	2020年3月	2021年3月	2017年3月	2018年3月	2019年3月	2020年3月	2021年3月	2017年3月	2018年3月	2019年3月	2020年3月	2021年3月		2017年3月	2018年3月	2019年3月	2020年3月	2021年3月							
福山高等専門学校	エコデザイン工学 制御情報システム工学 国際ビジネス学 海事システム工学専攻	20	4	7	6	8	45	8	9	11	14	53	6	5	10	9	9	39	10	11	13	13	14	61	4	3	3	5	4	19	4	2	2	2	10	1	2	3	1	7	17	234		
福山高等専門学校専攻科							0				0					0							0					0	1				1					0	1				1	1
北海道大学	教育・工学部						0				0	1				1							0					1	1				0					0	0				0	2
秋田大学	理工学部		1				1				0					0							0					0	1				1					0	1				2	2
山形大学	工学部						0				0					1	1						0					0					0					0	0				0	1
東北大学	理・工学部		1	1	2		1	1	2	1	2	1				1	1	3					0					0					0					0	0				0	7
筑波大学	社会国際・理工・情報学部		1	1	1		1				1					0	1		1	2			1					1					0					0	0				0	5
宇都宮大学	工学部						0				1					0	1		1	2			2					0					0					0	0				0	3
群馬大学	理工学部						0	1			1	2	1	1		3							0					0					0					0	0				0	5
埼玉大学	教育・経済学部						0				0					0							0	1	1	2	2	1	7				0					0	0				0	7
千葉大学	工学部		1	2			1	4	1	1	2	1	1			2	1	1	2	1	1	2					2					0					0	0				0	10	
お茶の水女子大学	文教育・生活科学部						0				0					0						0					2	2	2			6					0	0				0	6	
東京大学	工学部		1	1			2				0					0						0	1				0					0					0	0				0	3	
東京外国語大学	言語文化・国際社会学部						0				0					0						0					1	2	1			5					0	0				0	5	
東京海洋大学	海洋工学部						0				0					0						0					0					0	1	1	1	1	4	1	1			2	6	
東京工業大学	工・物質理工・生命理工学院		1	1	2		1	2			0	1	1	1	3	0						0					0					0					0	0				0	5	
東京農工大学	工学部						1	1	2		0	1	2			0	4					0					0					0					0	0				0	6	
電気通信大学	情報理工学域						0	1			1					0	1					1					0					0					0	0				0	2	
横浜国立大学	理工学部						0				1					0						0					0					0					0	0				0	1	
新潟大学	人文・法・経済・工・農学部		1	1	2		4	2	1	2	5	2	4	2		8	1	1	1	1	3	1	4	1	1	3	10					0					0	0				0	30	
長岡技術科学大学	工学部						2	5	9	4	2					6	4	1	1	2	8	1	1	1	3	0					0					2	2				2	28		
福山大学	人文・経済・理・工・都市デザイン学部		1	1	2		4				1	1	2	4	1	8	2	2	3	7	2	1	2	5	0	0					5					0	0				0	25		
金沢大学	人間社会・理工学域		3	3	1	2	9	1	1	1	3	2	2	2	1	7	1	2	1	2	1	7	1	1	1	7	1				0					0	0				0	27		
福井大学	工学部						1				0	1				0					0					0					0					0	0				0	2		
徳州大学	人文・経済・工・機械学部		1				2	3			0	2				2					0	3	1	1		5					0					0	0				0	10		
静岡大学	工・情報学部						0				1	1				0					1	1				0					0					0	0				0	2		
名古屋大学	文・教育・法・経済・工学部						1	1			1	1	1			1	2				0					4	1				5					0	0				0	9		
名古屋工業大学	工学部						0	1			1	2				1	3				0					0					0					0	0				0	4		
豊橋技術科学大学	工学部		1	2	1		2	6	2	4	1	7	1	2	1	4	1	2	5	1	3	12				0					0					0	0				0	29		
岐阜大学	工学部						0				0	1				0					0					0					0					0	0				0	1		
三重大学	工学部		1				1				0					0					0					0					0					0	0				0	1		
滋賀大学	経済学部						0				0					0					0					2		2	2		6					0	0				0	6		
京都大学	法学部						0				0					0					0					0	1		1		2					0	0				0	2		
京都工芸繊維大学	工芸科学部						1	1			0	1				1	2				0					0					0					0	0				0	3		
大阪大学	人間科学・外国語・工学部		1				1				0	1				1	2				0					0	1		1	2	4					0	0				0	7		
神戸大学	文・法・経営・海事科学部						0				0					0					0					3	2	1	3	4	13	1	1	1	1	5	1	1	1		3	8		
神奈川大学	文・理・生活環境学部						0				0					1					0					0	1				2					0	0				0	3		
岡山大学	理・工学部		1				1	1	2	1	0	1	2	1		3					0					0					0					0	0				0	5		
広島大学	文・工・生物生命学部						0				0					1	1				1	1				0					0					0	0				0	3		
山口大学	工学部		1				1				0					0					0					0					0					0	0				0	1		
香川大学	経済学部						0				0					0					0					0					1					0	0				0	1		
九州大学	経済・工学部						0				0	1				1					0					0	1				2					0	0				0	3		
熊本大学	工学部						0				0					0					0					1					0					0	0				0	1		
鹿児島大学	工・農学部						0				0					1	1				0					0					0					0	0				0	2		
鹿児島大学	体育学部						0				0					0					0					0					0					0	0				0	0		
琉球大学	工学部		1				1				0					0					0					0					0					0	0				0	1		
高崎経済大学	地域政策学部						0				0					0					0					0					0					0	0				0	1		
東京都立大学	システムデザイン・都市環境学部						0	1			1	1				1	2				0					0					0					0	0				0	3		
富山県立大学	工学部						0				1	1				0					0					0					0					0	0				0	1		
長野大学	社会福祉学部						0				0					0					0					0					1					0	0				0	1		
大阪																																												

就職

機械システム工学科

YKK、YKK AP、エヌアイシ・オートテック、中越合金鋳造、熊野製作所、中田鉄工所、キッツ、コマツNTC、新東工業、スギノマシン、ダイキン工業、不二越、ファインネクス、モビテック、セイコーエプソン、東芝エレベータ、浜松ホトニクス、日立ビルシステム、立山科学グループ、SUBARUテクノ、日産オートモーティブテクノロジ、三菱電機エンジニアリング、三菱電機ビルテクノサービス、川崎重工業、新明和工業、北陸電力、JR東海、JR貨物、ANAラインメンテナンステクノクス、成田空港給油施設、S I S、日本オープンシステムズ、日揮グローバル、田辺工業、キリンビバレッジ、サントリースピリッツ、朝日印刷、昭和電工セラミックス、日東電工、日本ゼオン、富士フイルムビジネスエキスパート、アステラスファーマテック、大塚製薬工場、クラシエ製薬、ユースキン製薬、協和ファーマケミカル、リードケミカル、出光興産、シロウマサイエンス、TSK、ミュキ化成、リッチェル、日本特殊陶業、国土交通省、国立印刷局、富山市消防局

電気制御システム工学科

北陸電力、北陸電気保安協会、中部電力、中部電力パワーグリッド、関西電力、東京ガス、JR東海、JR西日本、JR貨物、あいの風とやま鉄道、ANAラインメンテナンステクノクス、日本空調北陸、日本海電業、ダイダン、田辺工業、中越バルブ工業、日東電工、日本ゼオン、クラシエ製薬、第一三共プロファーマ、協和ファーマケミカル、出光興産、三晶MEC、YKK、YKK AP、ユニゾーン、ダイキン工業、日本オーチス・エレベータ、不二越、ヤマザキマザック、ファインネクス、セイコーエプソン、ソニーGM&O、ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング、パナソニックアプライアンス社、浜松ホトニクス、KOKUSAI ELECTRIC、国際電気セミコンダクターサービス、富山村田製作所、富士通エフサス北陸カスタマーサービス、立山科学グループ、北陸電気工業、シードシステムズ、シキノハイテック、プレックス、SUBARUテクノ、マツダ、日産エンジニアリング、三菱電機ビルテクノサービス、東京R&D、シチズン時計マニュファクチャリング、NTT東日本、NTTデータ、NTTコムソリューションズ、NTTデータNJK、科学情報システムズ、メンバーズ、成和システムエンジニアリング、NHKメディアテクノロジ、Na I TO、北銀ソフトウエア、オリックスファシリティーズ、アウトソーシングテクノロジ、国立印刷局、日本原子力研究開発機構

物質化学工学科

サントリースピリッツ、サントリービール、サントリープロダクツ、雷印メグミルク、中越バルブ工業、花王、資生堂、昭和電工、デンカ、東亜合成、日東電工、日本曹達、日本ゼオン、富士フイルム富山化学、三井化学分析センター、アイザック、アステラスファーマテック、大塚製薬工場、クラシエ製薬、第一三共プロファーマ、太陽ファルマテック、日医工、富山小林製薬、協和ファーマケミカル、十全化学、大和薬品工業、立山化成、立山製薬工場、東亜薬品、日東メディック、前田薬品工業、出光興産、丸善石油化学、キタノ製作、三晶MEC、塩谷硝子、YKK、昭北ラミネート、ダイキン工業、日清紡メカトロニクス、立山科学グループ、北陸電気工業、関西電力、東京都下水道サービス、黒川製作所、MSグループ、モラボテモス、北海道警察、富山市役所

電子情報工学科

アイフォーコム、アルファシステムズ、池上通信機、高志インテック、NTTエムイー、NTTデータフロンティア、NTTネオमित、NTTフィールドテクノ、KDDIエンジニアリング、DMM.comラボ、KSF、ソフト、テックファーム、日通システム、日本システムワーク、日本テクノストラクチャ、FIXER、ピーネックスソリューションズ、富士ソフト、メンバーズ、アスプロコミュニケーションズ、北陸コンピュータ・サービス、グローフィールド、共同コンピュータ、日本オープンシステムズ、NHKメディアテクノロジ、シオプロ、北銀ソフトウエア、NECネットエスアイ、セイコーエプソン、立山科学グループ、パナソニックシステムソリューションズジャパン、KOKUSAI ELECTRIC、富士通ネットワークソリューションズ、シキノハイテック、トヨタシステムズ、三菱電機ビルテクノサービス、シモノ、中部電力、関西電力、北陸電力、北電テクノサービス、北電情報システムサービス、北陸電気工事、JR東日本、JR西日本、日揮、正栄産業、ゼオンノース、サントリープロダクツ、朝日印刷、東亜合成、クラシエ製薬、YKK、YKK AP、コマツNTC、三和工機、不二越、牧野フライス製作所、明和eテック、ファインネクス、マイスターエンジニアリング、国立印刷局

国際ビジネス学科

内閣府、外務省、財務省、経済産業省、国土交通省、東京地方検察庁、国立大学法人東京大学、国立大学法人富山大学、東京都庁、富山県庁、富山県警察、富山市役所、新川地域消防組合、三耐保温、シルバー印刷、ジャパンメディック、YKK、不二越、キタムラ機械、ファインネクス、立山科学グループ、東洋電機製作所、中部電力、北陸電力、北陸発電工事、東京都下水道サービス、JR西日本ウィアイン、JALスカイ、コネクシオ、NDCJapan、ワイティシステム、クスリのアオキ、ワシントン靴店、北陸銀行、富山第一銀行、レイシャス、アウトソーシングテクノロジ、エフェクトプラン、セカンドゲート、マーキュリー、Life Foundation

商船学科（航海コース）

日本郵船、NSユナイテッド海運、商船三井オーシャンエキスパート、宇徳、川崎近海汽船、日東物流、日本通運、日本海運、旭海運、東海運、上野トランステック、オーシャントランス、鹿児島船舶、クルーズプラネット、ケイビシ、五栄土木、佐渡汽船、佐渡汽船シッピングマネジメント、新日本海サービス、新日本海フェリー、第一中央内航、ダイトコーポレーション、辰巳商會、東幸海運、ニッスイマリン工業、日本海曳船、日本港運、福寿船舶、北星海運、名港海運、明和タンカー、ユニエックスNCT、Unix Line Pte Ltd、成山堂書店、NTTワールドエンジニアリングマリン、アクテック、トレンドジャパン、三角屋、海上保安庁

商船学科（機関コース）

日本郵船、郵船クルーズ、NSユナイテッド海運、商船三井、商船三井客船、商船三井フェリー、商船三井オーシャンエキスパート、川崎汽船、川崎近海汽船、川近シッピングマネジメント、日本通運、JXオーシャン、上野トランステック、大光船舶、宇部興産海運、鹿児島船舶、共栄マリン、五栄土木、佐渡汽船、佐渡汽船シッピングマネジメント、新日本海フェリー、太平洋産業貿易、東海汽船、新潟造船、ニッスイマリン工業、日本海曳船、バルチラジャパン、福寿船舶、ボルテック、フィリパパーコ、日本船員雇用促進センター、朝日工業社、日広熱熱、YKK、新日軽北陸、ダイキン工業、ヤンマーエンジニアリング、ヤンマーエネルギーシステム、日立ビルシステム、東洋ガスメーター、古城モーターズ

エコデザイン工学専攻

大林組、正栄産業、第一テクノ、サントリープロダクツ、朝日印刷、DIC、カネカ、住友化学、東ソー・ゼオラム、日本曹達、富士フイルム、アイザック、富山環境整備、同仁医薬化工、富士薬品、救急薬品工業、廣貴堂、十全化学、日東メディック、YKK、YKK AP、サンエツ金属、三協立山、シーケー金属、アマダ、スギノマシン、牧野技術サービス、協和マシン、SMK、ソニーGM&O、日立造船、富山富士通、立山科学グループ、KOKUSAI ELECTRIC、北陸電気工業、SUBARUテクノ、日本原子力発電、北陸電力、JR東海、丸栄運輸機工、ウィッツ、ゼンリン、バイスリープロジェクト、システック牛島、富山中央青果、Mテック、共和コーポレーション、マイスターエンジニアリング、射水市役所

制御情報システム工学専攻

日揮、コマツNTC、DMG森精機、東京ウエルズ、不二越、明和eテック、セイコーエプソン、ソニー、ソニーエンジニアリング、トヨタ自動車、日立情報通信エンジニアリング、KOKUSAI ELECTRIC、富士通、富士通クラウドテクノロジーズ、富士通ネットワークソリューションズ、PFU、富士電機、メトロ、ANAベースメンテナンステクノクス、アジアクエスト、インテック、高志インテック、NTTデータ、KSF、ネオシステム、メディアシーク、メンバーズ、ヤフー、リデル、成和システムエンジニアリング、北銀ソフトウエア、高エネルギー加速器研究機構

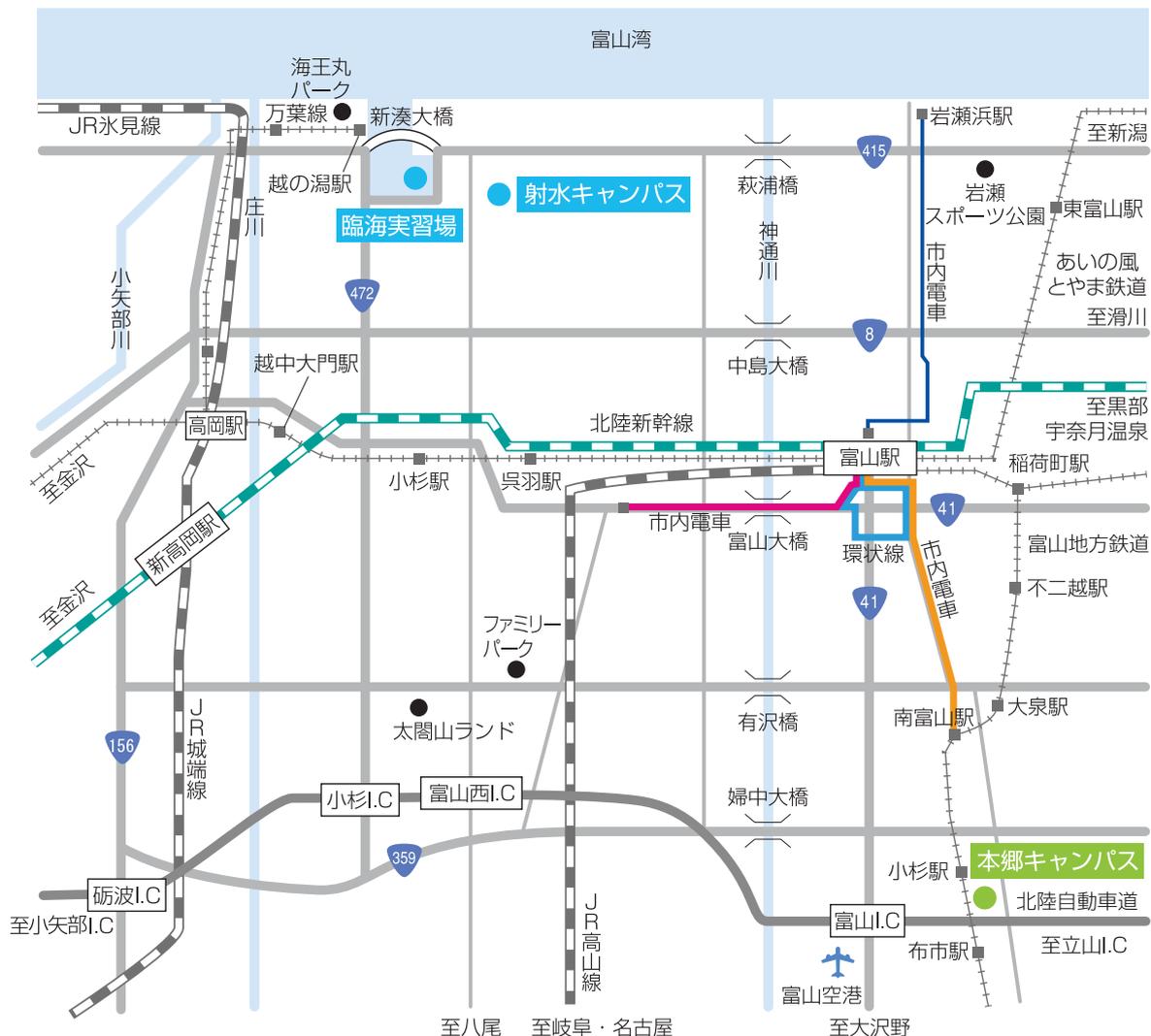
国際ビジネス学専攻

近藤建設、土の力、スガキ、黒田化学、YKK、ジョンソンコントロールズ、日清工業、SMK、NTTビジネスソリューションズ、ソフト、MINAMI、日テレアックスオン、マイナビ、北陸チューリップ、富山第一銀行、学研ココファン・ナーサリー、SEAL S、富山市民プラザ

海事システム工学専攻

フルテック、東亜合成、YKK、日清工業、旭タンカー、川崎汽船、日本通運、鶴見サンマリン、エスオーシーマリン、正栄汽船、新日本検定協会、島大証券、国土交通省

■ アクセスマップ



本郷キャンパス

〒939-8630 富山県富山市本郷町 13
TEL:076-493-5402 FAX:076-492-3859

- バス/富山駅南口バスターミナル 5 番乗り場から「国立高専」行きに乗車～約 30 分～国立高専前 [終点] 下車、徒歩 0 分
- 電車/電鉄富山駅からの場合
「岩峯寺」行きに乗車～約 14 分～小杉駅下車、徒歩 15 分
岩峯寺駅からの場合
「電鉄富山」行きに乗車～約 15 分～布市駅下車、徒歩 15 分

射水キャンパス

〒933-0293 富山県射水市海老江練合 1 の 2
TEL:0766-86-5100 FAX:0766-86-5130

- バス/富山駅南口バスターミナル 3 番乗り場から「新港東口」行きに乗車～約 30 分～「練合」下車、徒歩 2 分
富山駅北口バスターミナル 2 番乗り場から「国立高専射水」行きに乗車～約 40 分～「国立高専射水」(終点) 下車
高岡駅北口バスターミナル 4 番乗り場から「富山高専」行きに乗車～約 45 分～「富山高専」(終点) 下車
- コミュニティバス/射水市のコミュニティバスも利用可

<https://www.nc-toyama.ac.jp>